

事務事業評価調書

事業名	自転車安全利用啓発事業				部(局)	県民生活部
					所管課	くらし安全課
					担当班	交通安全対策班
					連絡先	078-362-9071
開始年度	平成14年度	終了年度	令和10年度	関連計画等	自転車活用推進計画	
事業区分	<input type="checkbox"/> 国補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 県単独事業					
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直執行 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他()				実施主体等	県
事業目的	「自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例」に基づき、関係機関と連携した自転車利用者の交通ルール・利用マナーの更なる徹底を図る 県民への自転車ヘルメット着用意識を高め、自転車ヘルメット着用率を上げることにより、県内の自転車事故の死者数を減らす。					
事業概要	チラシ・動画・交通安全教室など様々な媒体等による切間のない着用促進の啓発の実施 ・県内の自転車事故多発市町にて中学生・高校生を中心に市町等と連携して交通ルールなどを啓発 ・四季の運動等交通安全イベントによるヘルメット着用促進の啓発 (R6) 地区交通安全協会等実施イベント時のチラシ等配布、チラシ電子データの市町及び交通安全ネットワークへの配布による啓発 ・動画作成によるヘルメット着用促進の啓発 (R6) 着用促進をPRする動画を作成し、配信などによる啓発 ・ヘルメット着用促進高校生等交通安全教室の実施による啓発 高校生等に向け、ヘルメット着用の重要性を、交通事故の疑似体験等を通じて学ぶ交通安全教室を実施(委託)し、ヘルメット着用促進を啓発					
これまでの改善状況	兵庫県は自転車利用者のヘルメット着用率が全国に比べ低いため、別途、R5年度9月補正で自転車利用率の高い学生や子育て世代及び自転車事故による死者数が多い高齢者に対して1人4千円の購入支援の緊急対策(自転車ヘルメット購入応援事業)を実施。					
業務フロー	県→【啓発チラシ(紙・データ)】→〔地区交通安全協会・市町・交通安全ネットワーク等〕→県民 県→【啓発動画】→〔県HP等〕→県民 県→【交通安全教室】→高校生等					
事業に要するコスト	区 分		4年度決算額	5年度決算額	6年度決算額	7年度当初予算額
	事業費①		3,551千円	5,161千円	6,502千円	2,232千円
	経費内訳	報酬・賃金	0千円	0千円	0千円	0千円
		委託料	3,498千円	2,750千円	4,987千円	2,079千円
		補助金・交付金	0千円	0千円	0千円	0千円
		貸付金	0千円	0千円	0千円	0千円
		その他	53千円	2,411千円	1,515千円	153千円
	(財源内訳)	(国庫)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)
		(特定)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)
		(起債)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)
		(一般財源)	(3,551千円)	(5,161千円)	(6,502千円)	(2,232千円)
	予算額② ※精算補正前の予算を記載		4,025千円	5,628千円	7,526千円	2,232千円
	執行率 ((①/②) × 100)		88.2%	91.7%	86.4%	100.0%
	人件費③ (a+b+c)		従事人員 0.8人	従事人員 0.6人	従事人員 1.5人	従事人員 1.5人
		6,606千円	4,950千円	12,929千円	13,496千円	
職員給与費	a	5,709千円	4,294千円	11,084千円	11,855千円	
賞与引当金繰入額	b	466千円	356千円	936千円	891千円	
退職手当引当金繰入額	c	430千円	300千円	909千円	750千円	
総コスト (①+③)		10,157千円	10,111千円	19,431千円	15,728千円	

事務事業評価調書

評価	指標名	区分	4年度実績	5年度実績	6年度実績	7年度目標	最終目標【年度】
	評価	成果指標（アウトカム指標①）	目標	5,000	5,000	3,000	3,000
自転車関係事故件数		実績（見込）	4,162	4,184	3,870	(3,946)	【R15年度】
		(単位当たりコスト)	(2千円)	(2千円)	(5千円)	(4千円)	
		達成率（見込）	83.2%	83.7%	129.0%	(131.5%)	
成果指標（アウトカム指標②）		目標	—	—	16	16	12
自転車事故死亡者数		実績（見込）	—	—	11	(16)	【各年度】
		(単位当たりコスト)	--	--	(1,766千円)	(983千円)	
		達成率（見込）	--	--	(68.8%)	(100.0%)	
成果指標（アウトカム指標③）		目標	—	—	17.0	17.0	全国平均
自転車ヘルメット着用率 ※R5全国平均(13.5%) R6全国平均(17.0%)		実績（見込）	—	—	7.7	(17.0)	【各年度】
		(単位当たりコスト)	--	--	(2,523千円)	(925千円)	
		達成率（見込）	--	--	(45.3%)	(100.0%)	
活動指標（アウトプット指標①）	目標	—	—	5	3	5	
高校生交通安全教室実施回数	実績（見込）	—	—	5	(3)	【R10年度】	
	(単位当たりコスト)	--	--	(3,886千円)	(5,243千円)		
	達成率（見込）	--	--	(100.0%)	(100.0%)		
活動指標（アウトプット指標②）	目標						
	実績（見込）						
	(単位当たりコスト)	--	--	--	--		
	達成率（見込）	--	--	--	--		
活動指標（アウトプット指標③）	目標						
	実績（見込）						
	(単位当たりコスト)	--	--	--	--		
	達成率（見込）	--	--	--	--		
終期設定	○(令和10年度)						無
改善基準	自転車事故者数及び着用率の成果を踏まえ検討						
自己	評価の視点	評価			目標に対する達成状況（総合的評価）		
	○有効性（評価指標に対する実績） ・県民ニーズを的確に踏まえた事業か ・民間での事業実施は見込めない事業か ・指標・目標設定は適切か ・活動実績は十分か ・想定された成果を達成しているか など	自転車関係事故件数の減少のため、市町と連携して普及啓発の取り組んでいる。また、スタントマンを使った疑似交通事故により恐怖を実感することで交通ルールの遵守に向けて有効な方法である。			自転車関係事故件数は市町など関係機関と連携し、交通ルールや利用マナーなどを学校で教室を開くなど普及啓発に努め、実績件数は減少傾向である。 H30: 5,881件、R元: 5,716件、R2: 4,311件、R3: 4,344件、R4: 4,162件、R5: 4,184件、R6: 3,870件		
○効率性（最小のコストで最大の効果） ・業務改革に取り組んでいるか ・コスト削減の工夫を行っているか ・ICTや民間活力は活用しているか ・受益者負担は適正か ・財源確保の工夫は行っているか など	民間・大学等のノウハウ等を生かすよう努めるとともに、動画や配信等を活用して、自転車ヘルメットの着用促進を行い自転車事故死亡者数を減らしていく。			R5年度より自転車ヘルメット着用が努力義務化されたが兵庫県は着用率が全国的に比べ低いため、自転車ヘルメット着用促進の動画・配信や交通安全教室などを活用して積極的な普及啓発を行う。			
評価	課題・今後の方向性						
	<input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 他事業と統合 <input type="checkbox"/> その他 説明 交通安全には特効薬があるわけではなく、繰り返し継続した意識付け・注意喚起が大切であるため、今後も有効な手段を検討しながら、引き続き普及・啓発を実施していく。 R7年度は自転車用ヘルメット着用率向上のため、生徒主体で自転車用ヘルメット着用に取り組む高等学校をモデル校と設定し、自転車用ヘルメットを配布している。						
評価							

事務事業評価調書

事業名	ひょうご出会い支援事業			部(局)	県民生活部	
				所管課	男女青少年課	
				担当班	男女共同参画班	
				連絡先	078-362-4185	
開始年度	令和5年度	終了年度	—	関連計画等		
事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 国補助事業 <input type="checkbox"/> 県単独事業					
実施方法	<input type="checkbox"/> 直執行 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他()				実施主体等	
事業目的	少子化の大きな要因の一つである「晩婚化・未婚化の進行」に対する取組として、社会全体で結婚を支援するため、ひょうご出会いサポートセンターを運営し、個別お見合い紹介・出会いイベント等を通じて独身男女の出会い・結婚を支援する。					
事業概要	(1)個別お見合い紹介（出会いサポートセンタースタッフによる個別サポート） センタースタッフが登録会員に対し、プロフィールの書き方からお相手選び、お見合い、交際に至るまでのサポートを実施。 (2)出会いイベント等の実施・紹介 一度に複数の相手と話をすることができる出会いイベントを実施。また、協賛団体が行うイベントについても会員へ紹介し、希望に合ったイベントに参加できる機会を提供。県内各地で出張相談会や結婚力アップセミナーを開催する等、成婚へ向けた会員の後押しも実施する。					
これまでの改善状況	H31～ 日曜日を開所 R2～ スマホ婚活システムの導入、大手民間婚活事業者3者と連携協定を締結 R4～ 県政改革方針により、R5年度から地域センター（10カ所）を神戸センター1カ所へ統合した上での事業継続を決定 R5～ 重点政策枠事業（本事業）として組み替え事業実施 会員登録など全ての手続きのオンライン化と、会員の価値観に基づきAIがお相手をお見合いする機能を備えた新システムの運用を開始 R6～ ひょうご出会いサポートセンター運営事業者を企画提案コンペで選定					
業務フロー	ひょうご出会いサポートセンターの運営を委託（運営事業者はコンペで決定） (1)出会いサポートセンタースタッフによる個別サポート 会員登録・プロフィール記入⇒プロフィール閲覧・お見合い申込⇒お見合い⇒交際⇒成婚 (2)出会いイベントの実施・紹介 イベントの企画・実施・募集にかかるメール配信、SNSでの情報発信					
事業に要するコスト	区 分		4年度決算額	5年度決算額	6年度決算額	7年度当初予算額
	事業費①		0千円	90,619千円	36,913千円	41,723千円
	経費内訳	報酬・賃金				
		委託料		90,619千円	36,913千円	41,723千円
		補助金・交付金				
		貸付金				
		その他				
	（財源内訳）	（国庫）		(29,061千円)	(18,733千円)	(7,660千円)
		（特定）				
		（起債）				
		（一般財源）		(61,558千円)	(18,180千円)	(34,063千円)
	予算額② ※精算補正前の予算を記載			87,498千円	43,822千円	41,723千円
	執行率（(①/②)×100）		--	103.6%	84.2%	100.0%
	人件費③（a+b+c）		従事人員	従事人員	従事人員	従事人員
			0人	1.0人	1.0人	1.0人
		0千円	8,250千円	8,619千円	8,997千円	
職員給与費	a		7,156千円	7,389千円	7,903千円	
賞与引当金繰入額	b		594千円	624千円	594千円	
退職手当引当金繰入額	c		500千円	606千円	500千円	
総コスト（①+③）		0千円	98,869千円	45,532千円	50,720千円	

事務事業評価調書

評価	指標名	区分	4年度実績	5年度実績	6年度実績	7年度目標	最終目標【年度】	
	評価	成果指標（アウトカム指標①）	目標		200	200	200	200
		実績（見込）		73	69	(200)	【R7年度】	
ひょうご出会い支援事業による成婚数（組）		(単位当たりコスト)	--	(1,354千円)	(660千円)	(254千円)		
		達成率（見込）	--	36.5%	(34.5%)	(100.0%)		
成果指標（アウトカム指標②）		目標			3,112	4,000	5,000	5,000
		実績（見込）			1,840	1,864	(5,000)	【R7年度】
		(単位当たりコスト)	--	(54千円)	(24千円)	(10千円)		
		達成率（見込）	--	59.1%	(46.6%)	(100.0%)		
成果指標（アウトカム指標③）		目標						
		実績（見込）						
		(単位当たりコスト)	--	--	--	--		
		達成率（見込）	--	--	--	--		
指標	活動指標（アウトプット指標①）	目標		3,500	4,500	3,289	3,549	
		実績（見込）		3,159	3,489	(3,289)	【R11年度】	
	はばタン会員登録者数	(単位当たりコスト)	--	(31千円)	(13千円)	(15千円)		
		達成率（見込）	--	90.3%	(77.5%)	(100.0%)		
	活動指標（アウトプット指標②）	目標			4,000	6,000	1,290	1,290
		実績（見込）			1,290	1,127	(1,290)	【R11年度】
		(単位当たりコスト)	--	(77千円)	(40千円)	(39千円)		
		達成率（見込）	--	32.3%	(18.8%)	(100.0%)		
	活動指標（アウトプット指標③）	目標						
		実績（見込）						
		(単位当たりコスト)	--	--	--	--		
		達成率（見込）	--	--	--	--		
目標	終期設定	有（ ） ・					無	
	改善基準							
評価	評価の視点	評価		目標に対する達成状況（総合的評価）				
	○有効性（評価指標に対する実績）	<ul style="list-style-type: none"> 民間ニーズを的確に踏まえた事業か 民間での事業実施は見込めない事業か 指標・目標設定は適切か 活動実績は十分か 想定された成果を達成しているか など 		<ul style="list-style-type: none"> 民間の結婚相談所は高額で手が出しにくく、安価な婚活アプリはなりすまし等の不安があるため、利用をためらう県民にとって有用。 公的機関が運営をしていることへの安心感は大きく、利用者の入会理由の大きな要因となっている。 		コロナ禍における会員数やお見合い実施回数の減少等により、単年度の成婚組数は減少傾向にあるものの、新システム導入以降、はばタン会員登録者数は増加傾向にあり、今後のお見合い数や成婚数の増加も期待される。		
	○効率性（最小のコストで最大の効果）	<ul style="list-style-type: none"> 業務改革に取り組んでいるか コスト削減の工夫を行っているか ICTや民間活力は活用しているか 受益者負担は適正か 財源確保の工夫を行っているか など 		<ul style="list-style-type: none"> 民間イベントが少ない地域での、出会いイベントや結婚力アップセミナー、出張相談会の開催など成婚に向けた取組を実施。 R4年度末には県内10カ所、東京の地域センターを神戸センターに統合。 R5年度、会員の利便性確保のため、手続きのオンライン化やAIマッチング機能を備えた新システムを導入。 R6年度からは民間事業者による効率的な運営により事業費を大きく削減。 				
評価	課題・今後の方向性							
	<input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 他事業と統合 <input type="checkbox"/> その他							
評価	説明 センターの運営事業者は、企画提案コンペで選定。利用者のニーズに沿った新しい企画・事業を展開するとともに、きめ細やかなサービスを提供し、新規会員の獲得、成婚数の向上を目指す。							

事務事業評価調書

事業名	防犯カメラ設置補助事業				部(局)	県民生活部
					所管課	特殊詐欺等対策課
					担当班	企画調整班
					連絡先	078-362-3163
開始年度	平成22年度	終了年度	—	関連計画等	第6期地域安全まちづくり推進計画	
事業区分	<input type="checkbox"/> 国補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 県単独事業					
実施方法	<input type="checkbox"/> 直執行 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他()				実施主体等	市町
事業目的	防犯カメラの設置を促進するため、平成22年度から補助事業を実施し、犯罪発生時に被疑者を追跡できる設備として、重要性和早期解決への効果が認められ、さらなる設置に対してニーズが高まっている。市町のニーズに応じた地域防犯力の向上を支援するため、防犯カメラ設置補助事業を主体的に行う市町に対して補助を行う。					
事業概要	補助対象者：市町（地域団体への間接補助） 補助対象経費：地域団体が、犯罪予防を目的として公道等に常設する、映像の撮影、記録等の機能を有する機器（防犯カメラシステム）及び防犯カメラ設置を明示する標識の購入並びに設置工事に要する経費 補助額：1か所当たり4万円（R6年度～） 補助箇所数：250か所					
これまでの改善状況	（1か所当たり補助額） H22～H24年度：18万円、H25～R3年度：8万円、R4年度～：6万円、R6年度～：4万円					
業務フロー	申請（地域団体）→受付・審査・申請（市町）→受付・審査（県）→交付（県）					

区 分		4年度決算額	5年度決算額	6年度決算額	7年度当初予算額	
事業に要するコスト	事業費①	26,400千円	21,352千円	9,716千円	10,000千円	
	経費内訳	報酬・賃金	0千円	0千円	0千円	0千円
		委託料	0千円	0千円	0千円	0千円
		補助金・交付金	26,400千円	21,352千円	9,716千円	10,000千円
		貸付金	0千円	0千円	0千円	0千円
		その他	0千円	0千円	0千円	0千円
	（財源内訳）	（国庫）	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)
		（特定）	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)
		（起債）	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)
		（一般財源）	(26,400千円)	(21,352千円)	(9,716千円)	(10,000千円)
	予算額② ※精算補正前の予算を記載		30,000千円	30,000千円	10,000千円	10,000千円
	執行率（(①/②)×100）		88.0%	71.2%	97.2%	100.0%
	人件費③（a+b+c）	従事人員	1.0人	0.5人	0.5人	0.5人
			8,257千円	4,125千円	4,310千円	4,499千円
職員給与費 a		7,136千円	3,578千円	3,695千円	3,952千円	
賞与引当金繰入額 b		583千円	297千円	312千円	297千円	
退職手当引当金繰入額 c		538千円	250千円	303千円	250千円	
総コスト（①+③）		34,657千円	25,477千円	14,026千円	14,499千円	

事務事業評価調書

評価	指標名	区分	4年度実績	5年度実績	6年度実績	7年度目標	最終目標【年度】
	評価	成果指標（アウトカム指標①） 刑法犯認知件数	目標	33,018	33,000	33,000	33,000
実績（見込）			33,018	37,267	37,817	(33,000)	【各年度】
（単位当たりコスト）			(1千円)	(1千円)	(0千円)	(0千円)	
達成率（見込）			100.0%	112.9%	114.6%	(100.0%)	
成果指標（アウトカム指標②）		目標					
		実績（見込）					
		（単位当たりコスト）	--	--	--	--	
		達成率（見込）	--	--	--	--	
成果指標（アウトカム指標③）		目標					
		実績（見込）					
		（単位当たりコスト）	--	--	--	--	
		達成率（見込）	--	--	--	--	
指標	活動指標（アウトプット指標①） 防犯カメラ設置補助箇所数【単年度】	目標	500	500	250	250	250
		実績（見込）	440	400	292	(250)	【各年度】
		（単位当たりコスト）	(79千円)	(64千円)	(48千円)	(58千円)	
		達成率（見込）	88.0%	80.0%	116.8%	(100.0%)	
	活動指標（アウトプット指標②）	目標					
		実績（見込）					
		（単位当たりコスト）	--	--	--	--	
		達成率（見込）	--	--	--	--	
	活動指標（アウトプット指標③）	目標					
		実績（見込）					
		（単位当たりコスト）	--	--	--	--	
		達成率（見込）	--	--	--	--	
目標	終期設定	有（ ） ・ 無					
	改善基準						
自己	評価の視点	評価		目標に対する達成状況（総合的評価）			
	○有効性（評価指標に対する実績） ・ 県民ニーズを的確に踏まえた事業か ・ 民間での事業実施は見込めない事業か ・ 指標・目標設定は適切か ・ 活動実績は十分か ・ 想定された成果を達成しているか など	地域の防犯力向上につながる新規設置への市町や地域防犯団体等からのニーズを踏まえながら、事業を実施している。		市町による防犯カメラ事業の取組を促進するため、県が先導的に取り組んできた事業であるが、H29年度には全市町で随伴補助など何らかの取組が行われ、また、市町の独自補助・直接設置も増加しているなど、一定の目的は達成されている。			
自己	○効率性（最小のコストで最大の効果） ・ 業務改革に取り組んでいるか ・ コスト削減の工夫を行っているか ・ ICTや民間活力は活用しているか ・ 受益者負担は適正か ・ 財源確保の工夫を行っているか など	近年の防犯カメラ設置費用の状況を踏まえ、R4年度に補助額を1か所当たり6万円に減額し、さらにR6年度に同4万円に減額している。					
	課題・今後の方向性						
評価	<input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 他事業と統合 <input type="checkbox"/> その他						
	説明	地域の防犯は、住民により近い市町が地域の実情に応じて主体的に取り組むものとの認識から、R5年度から県の直接補助から市町への間接補助に移行した。 R6年度以降も引き続き市町等のニーズや防犯カメラの有効性を踏まえ事業を継続していく。 なお、近年の防犯カメラ設置費用の状況を踏まえ、R6年度からは補助額を4万円/箇所に見直している。					
評価							

事務事業評価調書

事業名	自動録音電話機等普及促進事業				部(局)	県民生活部
					所管課	特殊詐欺等対策課
					担当班	企画調整班
					連絡先	078-362-3163
開始年度	令和4年度	終了年度	令和6年度	関連計画等	第6期地域安全まちづくり推進計画	
事業区分	<input type="checkbox"/> 国補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 県単独事業					
実施方法	<input type="checkbox"/> 直執行 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他()				実施主体等	市町
事業目的	高齢者の特殊詐欺被害を未然に防止するため、市町が実施する自動録音電話機等の普及事業を支援することにより、県内全域で特殊詐欺被害の未然防止対策を講じる。					
事業概要	【自動録音装置】 ・補助対象者：65歳以上の高齢者（市町への間接補助） ・補助対象経費：高齢者への自動録音電話機又は外付け録音機の購入補助又は貸与事業に要する経費 ・補助額：①警告機能付き自動録音電話機：10千円/台、②警告機能付き外付け録音機5千円/台 【市町事務費】 ・補助対象：自動録音電話機普及のために市町が実施する事務費相当額 ・補助額：①政令市及び中核市：6,000千円、②その他：3,000千円					
これまでの改善状況	特殊詐欺被害が過去最悪のペースで増加していることを踏まえ、R5年度12月補正で緊急対策を実施 ①自動録音機能付電話機等の機器購入費に対する補助事業（市町を通じた補助）を拡充 ②多様化する特殊詐欺の手口や対策について幅広い周知を図るため、県内各地できめ細かく被害対策講習会を開催するとともに、金融機関等高齢者がよく訪れる場所での普及啓発など、広く被害防止対策キャンペーンを実施					
業務フロー	申請（65歳以上の高齢者）→受付・審査・申請（市町）→受付・審査（県）→交付（県）					

区 分		4年度決算額	5年度決算額	6年度決算額	7年度当初予算額	
事業に要するコスト	事業費①	9,174千円	14,407千円	261,714千円	0千円	
	経費内訳	報酬・賃金	0千円	0千円	0千円	0千円
		委託料	0千円	0千円	0千円	0千円
		補助金・交付金	9,174千円	14,407千円	261,714千円	0千円
		貸付金	0千円	0千円	0千円	0千円
		その他	0千円	0千円	0千円	0千円
	（財源内訳）	（国庫）	(9,174千円)	(14,407千円)	(261,714千円)	(0千円)
		（特定）	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)
		（起債）	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)
		（一般財源）	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)
予算額② ※精算補正前の予算を記載		13,650千円	1,643,925千円	1,628,460千円	0千円	
執行率（(①/②)×100）		67.2%	0.9%	16.1%	--	
人件費③（a+b+c）	従事人員	1.0人	1.0人	1.0人	0.0人	
		8,257千円	8,250千円	8,619千円	0千円	
	職員給与費 a	7,136千円	7,156千円	7,389千円	0千円	
	賞与引当金繰入額 b	583千円	594千円	624千円	0千円	
	退職手当引当金繰入額 c	538千円	500千円	606千円	0千円	
総コスト（①+③）		17,431千円	22,657千円	270,333千円	0千円	

事務事業評価調書

評価	指標名	区分	4年度実績	5年度実績	6年度実績	7年度目標	最終目標【年度】
	評価	成果指標（アウトカム指標①）	目標	1,100	1,200	1,200	—
特殊詐欺認知件数		実績（見込）	1,074	1,224	1,445	—	【R5年度】
		（単位当たりコスト）	（16千円）	（19千円）	（187千円）	--	
		達成率（見込）	97.6%	102.0%	120.4%	--	
		目標					
成果指標（アウトカム指標②）		目標					
		実績（見込）					
		（単位当たりコスト）	--	--	--	--	
		達成率（見込）	--	--	--	--	
		目標					
成果指標（アウトカム指標③）		目標					
		実績（見込）					
	（単位当たりコスト）	--	--	--	--		
	達成率（見込）	--	--	--	--		
	目標						
指標	活動指標（アウトプット指標①）	目標	2,400	2,300	130,000	—	2,300
	自動録音電話機等設置補助台数	実績（見込）	2,428	2,700	23,218	—	【R5年度】
		（単位当たりコスト）	（7千円）	（8千円）	（12千円）	--	
		達成率（見込）	101.2%	117.4%	17.9%	--	
		目標					
	活動指標（アウトプット指標②）	目標					
		実績（見込）					
		（単位当たりコスト）	--	--	--	--	
		達成率（見込）	--	--	--	--	
		目標					
	活動指標（アウトプット指標③）	目標					
		実績（見込）					
（単位当たりコスト）		--	--	--	--		
達成率（見込）		--	--	--	--		
目標							
目標	終期設定	○（令和5年度）					無
	改善基準						
自己評価	評価の視点		評価		目標に対する達成状況（総合的評価）		
	○有効性（評価指標に対する実績）		特殊詐欺被害が過去最悪のペースで増える中、被害防止に効果がある自動録音機能付電話機等の購入補助について、市町・県民のニーズに沿った事業内容となっている。		自動録音電話機等設置補助台数は、堅調に推移しており、特殊詐欺被害の未然防止に一定の役割を果たしている。		
	<ul style="list-style-type: none"> ・県民ニーズを的確に踏まえた事業か ・民間での事業実施は見込めない事業か ・指標・目標設定は適切か ・活動実績は十分か ・想定された成果を達成しているか など 						
○効率性（最小のコストで最大の効果）		SNSや県・市町ホームページによる特殊詐欺に係る情報発信、県警や学生ボランティアと連携したPRキャンペーン等、積極的な普及啓発活動を行っている。					
評価	課題・今後の方向性						
	<input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 他事業と統合 <input checked="" type="checkbox"/> その他 令和6年度2月補正 新たに自ら自動録音機能付電話機を購入するハードルが高いが、独居高齢者など特殊詐欺被害リスクの高い世帯に対し、自動録音装置をより確実に普及させるため、外付け自動録音機を配付。 対象：65歳以上の高齢者						
評価							

事務事業評価調書

事業名	犯罪被害者等支援推進事業				部(局)	県民生活部		
					所管課	くらし安全課		
					担当班	地域安全対策班		
					連絡先	078-362-3173		
開始年度	令和5年度	終了年度	—	関連計画等	兵庫県犯罪被害者等支援計画			
事業区分	<input type="checkbox"/> 国補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 県単独事業							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直執行 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他()				実施主体等	県・(公社)ひょうご被害者支援センター		
事業目的	犯罪被害者等の権利利益の保護等を図るための施策の推進に関する条例に基づき令和5年10月に設置した「兵庫県犯罪被害者等総合相談窓口」において、個々の事情を踏まえた必要な支援をコーディネートする。							
事業概要	兵庫県犯罪被害者等総合相談窓口の設置 (R5年度～) 委託先：公益社団法人ひょうご被害者支援センター 事業内容：ワンストップ相談、支援コーディネート、市町・生活支援事業者研修 等							
これまでの改善状況	—							
業務フロー	ひょうご被害者支援センターと委託契約							
事業に要するコスト	区 分		4年度決算額	5年度決算額	6年度決算額	7年度当初予算額		
	事業費①		0千円	9,642千円	11,446千円	12,668千円		
	経費内訳	報酬・賃金		113千円	0千円	0千円		
		委託料		9,472千円	11,446千円	12,668千円		
		補助金・交付金		0千円	0千円	0千円		
		貸付金		0千円	0千円	0千円		
		その他		57千円	0千円	0千円		
	(財源内訳)	(国庫)		(0千円)	(0千円)	(0千円)		
		(特定)		(0千円)	(0千円)	(0千円)		
		(起債)		(0千円)	(0千円)	(0千円)		
		(一般財源)		(9,642千円)	(11,446千円)	(12,668千円)		
	予算額② ※精算補正前の予算を記載			10,349千円	12,711千円	12,668千円		
	執行率 ((①/②) × 100)		--	93.2%	90.0%	100.0%		
	人件費③ (a+b+c)		従事人員		1.0人	1.0人	1.0人	
				0千円	8,250千円	8,619千円	8,997千円	
職員給与費 a		0千円	7,156千円	7,389千円	7,903千円			
賞与引当金繰入額 b		0千円	594千円	624千円	594千円			
退職手当引当金繰入額 c		0千円	500千円	606千円	500千円			
総コスト (①+③)		0千円	17,892千円	20,065千円	21,665千円			

事務事業評価調書

評価	指標名	区分	4年度実績	5年度実績	6年度実績	7年度目標	最終目標【年度】	
	評価	成果指標（アウトカム指標①）	目標	—	5	5	5	5
実績（見込）			—	0	1	(5)	【R9年度】	
複数の関係機関による支援実施件数			(単位当たりコスト)	--	--	(20,065 千円)	(4,333 千円)	/
			達成率（見込）	--	0.0%	(20.0%)	(100.0%)	
成果指標（アウトカム指標②）		目標						
		実績（見込）						
		(単位当たりコスト)	--	--	--	--	/	
		達成率（見込）	--	--	--	--		
成果指標（アウトカム指標③）		目標						
		実績（見込）						
		(単位当たりコスト)	--	--	--	--	/	
		達成率（見込）	--	--	--	--		
指標	活動指標（アウトプット指標①）	目標	—	200	200	200	200	
		実績（見込）	—	68	81	(200)	【R9年度】	
		犯罪被害者等電話相談件数	(単位当たりコスト)	--	(263 千円)	(248 千円)	(108 千円)	/
			達成率（見込）	--	34.0%	(40.5%)	(100.0%)	
	活動指標（アウトプット指標②）	目標						
		実績（見込）						
		(単位当たりコスト)	--	--	--	--	/	
		達成率（見込）	--	--	--	--		
	活動指標（アウトプット指標③）	目標						
		実績（見込）						
		(単位当たりコスト)	--	--	--	--	/	
		達成率（見込）	--	--	--	--		
目標	終期設定	有（ ） ・ 無						
	改善基準	R6年度以降の電話相談件数が100件を下回る状況が続く場合に事業内容の見直しを検討						
自己評価	評価の視点	評価		目標に対する達成状況（総合的評価）				
	○有効性（評価指標に対する実績）	総合相談窓口の開設以降、不安や悩みを抱える犯罪被害者等からの相談に、専門知識・経験を有する犯罪被害相談員が対応している。		犯罪被害に関する相談のワンストップ窓口として、不安や悩みを抱える犯罪被害者等に適切な助言等を行っている。				
自己評価	○効率性（最小のコストで最大の効果）	相談員は必要最低限の人数（2名）を配置し、効率的な運営に努めている。						
	課題・今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 他事業と統合 <input type="checkbox"/> その他 説明 総合相談窓口の周知を一般県民はもとより、市町や関係団体など支援関係者に幅広く行い、相談の掘り起こしと複数機関による支援の充実を図る。事業のあり方については、現在設置している条例検証委員会等からの意見を踏まえ、改善を図っていく。						
自己評価								

事務事業評価調書

事業名	性被害ケアセンター設置等事業				部(局)	県民生活部
					所管課	くらし安全課
					担当班	地域安全対策班
					連絡先	078-362-3173
開始年度	平成29年度	終了年度	—	関連計画等	兵庫県犯罪被害者等支援計画	
事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 国補助事業 <input type="checkbox"/> 県単独事業					
実施方法	<input type="checkbox"/> 直執行 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他()				実施主体等	(公社)ひょうご被害者支援センター等
事業目的	性暴力被害者の心身の負担軽減、被害の潜在化を防止するため、専用相談窓口を設け、医療費助成、医療機関等への同行支援、法律相談、心のケア等を一体的に行う性暴力ワンストップ支援センターを設置する。 併せて、ワンストップ支援センター設置を契機に、より性犯罪等犯罪被害者等が抱える課題の理解促進を図るため、犯罪被害者等の心情への配慮や二次被害の防止の普及啓発を支援する。					
事業概要	①性被害ケアセンター「よりそい」の設置 委託先(一部補助)：公益社団法人ひょうご被害者支援センター 事業内容：専用電話相談、医療費助成、医療機関等への同行支援、法律相談・心理相談 等 ②医療従事者向け専門研修等 委託先：特定非営利活動法人性暴力被害者支援センター・ひょうご 事業内容：産婦人科医師等向けの専門研修、メール相談等					
これまでの改善状況	R3.10.1に内閣府が開設した夜間休日対応コールセンターとの連携により、相談受付を365日24時間体制とした。					
業務フロー	委託：県とひょうご被害者支援センター又は性暴力被害者支援センター・ひょうごとの委託契約 補助：申請(ひょうご被害者支援センター)→受付・審査(県)→交付(県)					

区 分		4年度決算額	5年度決算額	6年度決算額	7年度当初予算額	
事業に要するコスト	事業費①	5,144千円	6,206千円	6,533千円	8,663千円	
	経費内訳	報酬・賃金	0千円	0千円	0千円	0千円
		委託料	4,950千円	6,206千円	6,533千円	8,225千円
		補助金・交付金	194千円	0千円	0千円	438千円
		貸付金	0千円	0千円	0千円	0千円
		その他	0千円	0千円	0千円	0千円
	(財源内訳)	(国庫)	(2,525千円)	(3,083千円)	(3,250千円)	(4,210千円)
		(特定)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)
		(起債)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)
		(一般財源)	(2,619千円)	(3,123千円)	(3,283千円)	(4,453千円)
	予算額② ※精算補正前の予算を記載		8,615千円	7,368千円	8,683千円	8,663千円
	執行率((①/②)×100)		59.7%	84.2%	75.2%	100.0%
	人件費③(a+b+c)	従事人員	1.0人	1.0人	1.0人	1.0人
			8,257千円	8,250千円	8,619千円	8,997千円
職員給与費 a		7,136千円	7,156千円	7,389千円	7,903千円	
賞与引当金繰入額 b		583千円	594千円	624千円	594千円	
退職手当引当金繰入額 c		538千円	500千円	606千円	500千円	
総コスト(①+③)		13,401千円	14,456千円	15,152千円	17,660千円	

事務事業評価調書

評価	指標名	区分	4年度実績	5年度実績	6年度実績	7年度目標	最終目標【年度】
	評価	成果指標（アウトカム指標①） 面接相談・同行支援件数	目標	60	60	60	60
実績（見込）			62	34	71	(60)	【各年度】
(単位当たりコスト)			(233 千円)	(446 千円)	(213 千円)	(294 千円)	
達成率（見込）			103.3%	56.7%	(118.3%)	(100.0%)	
成果指標（アウトカム指標②）		目標					
		実績（見込）					
		(単位当たりコスト)	--	--	--	--	
		達成率（見込）	--	--	--	--	
成果指標（アウトカム指標③）		目標					
		実績（見込）					
		(単位当たりコスト)	--	--	--	--	
		達成率（見込）	--	--	--	--	
指標	活動指標（アウトプット指標①） 性被害者等電話相談件数	目標	800	800	800	800	800
		実績（見込）	920	999	875	(800)	【各年度】
		(単位当たりコスト)	(16 千円)	(15 千円)	(17 千円)	(22 千円)	
		達成率（見込）	115.0%	124.9%	(109.4%)	(100.0%)	
	活動指標（アウトプット指標②）	目標					
		実績（見込）					
		(単位当たりコスト)	--	--	--	--	
		達成率（見込）	--	--	--	--	
	活動指標（アウトプット指標③）	目標					
		実績（見込）					
		(単位当たりコスト)	--	--	--	--	
		達成率（見込）	--	--	--	--	
目標	終期設定	有（ ） ・ (無)					
	改善基準						
自己評価	評価の視点	評価		目標に対する達成状況（総合的評価）			
	○有効性（評価指標に対する実績） ・ 県民ニーズを的確に踏まえた事業か ・ 民間での事業実施は見込めない事業か ・ 指標・目標設定は適切か ・ 活動実績は十分か ・ 想定された成果を達成しているか など	性暴力被害者が心身のケア等を求める中、専門知識・経験を有する相談員が適切に支援を行っている。		「よりそい」の小、中、高等学校に対する周知等、積極的な広報活動による認知度の高まりにより、電話相談件数や面接相談・同行支援件数は、概ね安定的に推移している。			
自己評価	○効率性（最小のコストで最大の効果） ・ 業務改革に取り組んでいるか ・ コスト削減の工夫を行っているか ・ ICTや民間活力は活用しているか ・ 受益者負担は適正か ・ 財源確保の工夫を行っているか など	性暴力被害者への支援経験が豊富な民間団体へ委託している。					
	課題・今後の方向性 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 他事業と統合 <input type="checkbox"/> その他	説明 刑法改正により性犯罪の構成要件が拡大したこともあり、認知件数が増加している中、被害の潜在化を防ぐために、ワンストップ支援センターの更なる広報や関係機関との連携強化に努める。					
評価							

事務事業評価調書

事業名	芸術文化に親しむひょうご推進事業				部(局)	県民生活部	
					所管課	芸術文化課	
					担当班	芸術文化振興班	
					連絡先	078-362-3171	
開始年度	平成23年度	終了年度	—	関連計画等	芸術文化振興ビジョン		
事業区分	<input type="checkbox"/> 国補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 県単独事業						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直執行 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他()					実施主体等	
事業目的	地域に偏ることなく、県内全体において、身近に芸術文化に親しむことのできる環境の充実を実現させることで人々の暮らしに潤いをもたらすとともに、芸術文化の振興を目指す。						
事業概要	県内に活動拠点を有し、一定の芸術文化活動の経歴を有する個人・グループに対し、舞台芸術の公演、美術作品の展示等の事業、メディア芸術の発表及び文芸作品の出版事業にかかる経費のうち会場費、印刷費等を補助する。						
これまでの改善状況	H25：会場利用料の実態から、より少額な補助金額区分を新設。 H26：補助金額が補助対象経費の1/2を超えていたため、補助金額の区分を見直し。過去の補助対象経費平均から、最高額の補助に必要な補助対象経費を減額。 R3：補助金額が補助対象経費の概ね1/2～1/3になるよう、補助金額の区分を見直し。 R4：オンラインによる申請を導入。						
業務フロー	申請（団体）→審査・交付決定（県）→事業実施・実績報告（団体）→審査・補助金額確定（県）						

区 分		4年度決算額	5年度決算額	6年度決算額	7年度当初予算額	
事業に要するコスト	事業費①	7,470千円	8,180千円	8,060千円	8,040千円	
	経費内訳	報酬・賃金	0千円	0千円	0千円	0千円
		委託料	0千円	0千円	0千円	0千円
		補助金・交付金	7,470千円	8,180千円	8,060千円	8,040千円
		貸付金	0千円	0千円	0千円	0千円
		その他	0千円	0千円	0千円	0千円
	(財源内訳)	(国庫)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)
		(特定:宝くじ発行益収入)	(7,470千円)	(8,180千円)	(8,060千円)	(8,040千円)
		(起債)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)
		(一般財源)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)
	予算額② ※精算補正前の予算を記載		8,040千円	8,040千円	8,040千円	8,040千円
	執行率（(①/②）×100）		92.9%	101.7%	100.2%	100.0%
	人件費③（a+b+c）	従事人員	0.3人	0.3人	0.3人	0.3人
		2,477千円	2,475千円	2,586千円	2,699千円	
職員給与費 a		2,141千円	2,147千円	2,217千円	2,371千円	
賞与引当金繰入額 b		175千円	178千円	187千円	178千円	
退職手当引当金繰入額 c		161千円	150千円	182千円	150千円	
総コスト（①+③）		9,947千円	10,655千円	10,646千円	10,739千円	

事務事業評価調書

評価	指標名	区分	4年度実績	5年度実績	6年度実績	7年度目標	最終目標【年度】	
	評価	成果指標（アウトカム指標①）	目標	40	40	40	40	50
「兵庫のゆたかさ指標」県民意識調査における「暮らしの中で芸術文化を楽しむ機会を持っていると思う人の割合」		実績（見込）		39.0	37.6	39.2	40.0	【R7年度】
		（単位当たりコスト）		(255 千円)	(283 千円)	(272 千円)	(268 千円)	
		達成率（見込）		97.5%	94.0%	98.0%	(100.0%)	
		成果指標（アウトカム指標②）	目標					
		実績（見込）						
		（単位当たりコスト）		--	--	--	--	
		達成率（見込）		--	--	--	--	
		成果指標（アウトカム指標③）	目標					
		実績（見込）						
		（単位当たりコスト）		--	--	--	--	
		達成率（見込）		--	--	--	--	
	活動指標（アウトプット指標①）	目標	40,000	40,000	40,000	40,000	40,000	
鑑賞者数	実績（見込）		23,791	27,658	24,975	(40,000)	【R7年度】	
	（単位当たりコスト）		(0 千円)	(0 千円)	(0 千円)	(0 千円)		
	達成率（見込）		59.5%	69.1%	62.4%	(100.0%)		
	活動指標（アウトプット指標②）	目標	79	79	79	79	79	
補助件数	実績（見込）		69	78	69	(79)	【R7年度】	
	（単位当たりコスト）		(144 千円)	(137 千円)	(154千円)	(136 千円)		
	達成率（見込）		87.3%	98.7%	87.3%	(100.0%)		
	活動指標（アウトプット指標③）	目標						
	実績（見込）							
	（単位当たりコスト）		--	--	--	--		
	達成率（見込）		--	--	--	--		
	終期設定	有（ ） ・ 無						
改善基準								
自己評価	評価の視点	評価		目標に対する達成状況（総合的評価）				
	○有効性（評価指標に対する実績）	県民の芸術文化活動を支援する事業として個人、団体からの需要も高く、非常に多くの申請が寄せられている。		コロナ禍が明け、本事業を活用したいという県民は少なくない。R4以降の実績において、補助件数は目標値の約90%を達成しており、県内で芸術文化活動に取り組む個人又は団体の日頃の成果を披露する場の形成に貢献できていると考える。今後もこのニーズを鑑み、補助件数・鑑賞者数ともに目標を達成したい。				
自己評価	○効率性（最小のコストで最大の効果）	R5年度からは債権者登録オンライン申請も活用し、申請者負担の軽減に取り組んだ。						
	課題・今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 他事業と統合 <input type="checkbox"/> その他 説明 { 申請者からの意見を踏まえ、オンラインシステムを活用した申請の簡素化をさらに進めることで、より多くの県民に事業の活用を促していく。						
自己評価								

事務事業評価調書

事業名	県民芸術劇場の開催				部(局)	県民生活部
					所管課	芸術文化課
					担当班	芸術文化振興班
					連絡先	078-362-3171
開始年度	平成3年度	終了年度	—	関連計画等	芸術文化振興ビジョン	
事業区分	<input type="checkbox"/> 国補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 県単独事業					
実施方法	<input type="checkbox"/> 直執行 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他()				実施主体等	(公財)兵庫県芸術文化協会
事業目的	県内における芸術文化活動の向上発展と、心の豊かさを育むため、小学生、高校生、一般を対象に、音楽、演劇などの優れた舞台芸術を身近に鑑賞できる機会や参加・体験できる機会を提供するとともに、県内の舞台芸術団体等の育成、公立文化施設の活性化を図る。					
事業概要	公立文化施設、学校（小学校、高校）を対象に、当事業に登録された芸術文化団体の演目から選択し公演を開催する際の経費の一部を補助する。					
これまでの改善状況	H23：学校公演のうち中学校公演を当面の間停止（中学生を対象とする他事業があるため） R5：登録団体の活性化に向けた改善（新規団体募集、優秀団体公演の実施等）					
業務フロー	(公財)芸術文化協会より、地元主催者(学校・施設等)へ実施希望を調査、希望に応じて、公演団体への依頼、出演料の支払を行う。					

区 分		4年度決算額	5年度決算額	6年度決算額	7年度当初予算額	
事業に要するコスト	事業費①	17,896千円	31,170千円	28,471千円	25,451千円	
	経費内訳	報酬・賃金	0千円	0千円	0千円	0千円
		委託料	0千円	0千円	0千円	0千円
		補助金・交付金	17,896千円	31,170千円	28,471千円	25,451千円
		貸付金	0千円	0千円	0千円	0千円
		その他	0千円	0千円	0千円	0千円
	(財源内訳)	(国庫)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)
		(特定: 芸術文化振興基金繰入金)	(17,896千円)	(31,170千円)	(28,471千円)	(25,451千円)
		(起債)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)
		(一般財源)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)
	予算額② ※精算補正前の予算を記載		17,896千円	35,442千円	28,471千円	25,451千円
	執行率 ((①/②) × 100)		100.0%	87.9%	100.0%	100.0%
	人件費③ (a+b+c)	従事人員	0.1人	0.1人	0.1人	0.1人
			826千円	825千円	862千円	900千円
職員給与費 a		714千円	716千円	739千円	790千円	
賞与引当金繰入額 b		58千円	59千円	62千円	59千円	
退職手当引当金繰入額 c		54千円	50千円	61千円	50千円	
総コスト (①+③)		18,722千円	31,995千円	29,333千円	26,351千円	

事務事業評価調書

評価	指標名	区分	4年度実績	5年度実績	6年度実績	7年度目標	最終目標【年度】
	評価	成果指標（アウトカム指標①）	目標	40	40	40	40
「兵庫のゆたかさ指標」県民意識調査における「暮らしの中で芸術文化を楽しむ機会を持っていると思う人の割合」		実績（見込）	39.0	37.6	39.2	(40)	【R7年度】
		(単位当たりコスト)	(480千円)	(851千円)	(748千円)	(659千円)	
		達成率（見込）	97.5%	94.0%	98.0%	(100.0%)	
成果指標（アウトカム指標②）		目標	—	90	90	90	90
学校公演の観客満足度（%）		実績（見込）	—	95.2	94.3	(90)	【R7年度】
		(単位当たりコスト)	--	(336千円)	(311千円)	(293千円)	
		達成率（見込）	--	105.8%	(104.8%)	(100.0%)	
成果指標（アウトカム指標③）		目標					
		実績（見込）					
		(単位当たりコスト)	--	--	--	--	
		達成率（見込）	--	--	--	--	
	活動指標（アウトプット指標①）	目標	60	102	89	81	89
県民芸術劇場の公演数	実績（見込）	56	73	85	(81)	【R7年度】	
	(単位当たりコスト)	(334千円)	(438千円)	(345千円)	(325千円)		
	達成率（見込）	93.3%	71.6%	95.5%	(100.0%)		
	活動指標（アウトプット指標②）	目標	120,000	120,000	120,000	120,000	120,000
県民芸術劇場の鑑賞者数（21世紀兵庫長期ビジョンフォローアップ指標） ※県民文化普及事業との合算	実績（見込）	46,481	61,060	61,437	(120,000)	【R7年度】	
	(単位当たりコスト)	(0千円)	(1千円)	(0千円)	(0千円)		
	達成率（見込）	38.7%	50.9%	51.2%	(100.0%)		
活動指標（アウトプット指標③）	目標	—	510	510	510	510	
1公演あたり平均観客数(人/公演)	実績（見込）	—	474	472	(510)	【R7年度】	
	(単位当たりコスト)	--	(68千円)	(62千円)	(52千円)		
	達成率（見込）	--	92.9%	(92.5%)	(100.0%)		
	終期設定	有（ ） ・ 無					
改善基準							
自己評価	評価の視点	評価		目標に対する達成状況（総合的評価）			
	○有効性（評価指標に対する実績） ・ 県民ニーズを的確に踏まえた事業か ・ 民間での事業実施は見込めない事業か ・ 指標・目標設定は適切か ・ 活動実績は十分か ・ 想定された成果を達成しているか など	都市部に偏りがちな舞台芸術公演について、県内各地(R6：22市8町)で開催しており、県民が身近で優れた舞台芸術の鑑賞と参加・体験する機会を享受できている。 また、アンケート実施により、ニーズの把握や、結果のフィードバックによる演目の充実等につなげている。		コロナ禍が明け、公演実績は回復傾向にあり、目標値に対する実績は高い水準で推移している。学校等からのニーズの高い事業であることから、引き続き新規団体を増やす等により、公演の魅力を高め、目標達成に繋げたい。			
○効率性（最小のコストで最大の効果） ・ 業務改革に取り組んでいるか ・ コスト削減の工夫を行っているか ・ ICTや民間活力は活用しているか ・ 受益者負担は適正か ・ 財源確保の工夫を行っているか など	（公財）兵庫県芸術文化協会が中心となり事業を実施することで、同協会が有する文化施設・文化団体とのネットワークを活かした効率的な事業実施ができている。 また、一般公演は有料（入場料の上限あり）としており、受益者負担も適正に行っている。						
評価	課題・今後の方向性						
	<input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 他事業と統合 <input type="checkbox"/> その他 説明 { 引き続き新規公演団体の参画や公演内容の見直し等を行い、より魅力ある公演の実施を通じて芸術文化団体の活動や県民の芸術鑑賞機会の確保に努めていく。 }						
評価							

事務事業評価調書

事業名	芸術文化センター創造・公演事業				部(局)	県民生活部
					所管課	芸術文化課
					担当班	企画運営班
					連絡先	078-362-3146
開始年度	平成17年度	終了年度	—	関連計画等	芸術文化振興ビジョン	
事業区分	<input type="checkbox"/> 国補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 県単独事業					
実施方法	<input type="checkbox"/> 直執行 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他()				実施主体等	(公財)兵庫県芸術文化協会
事業目的	自ら創造し、県民とともに創造する「パブリックシアター」をめざす芸術文化センターの根幹として、自主制作事業を始めとする公演事業を実施し、幅広い県民に提供する。					
事業概要	自ら創造し、県民とともに創造する「パブリックシアター」をめざす芸術文化センターの根幹として、自主制作事業を始めとする公演事業を実施し、幅広い県民に提供するため、(公財)兵庫県芸術文化協会への補助を行う。					
これまでの改善状況	外部委員で組織する芸術文化センター運営委員会を開催し、センターの運営についての諸事項を審議している。(新型コロナウイルスの影響によりR3~R5までは開催を見合わせ)令和7年度に芸術文化センターのあり方検討会を実施。					
業務フロー	申請(協会)→受付・審査(県)→交付(県)					

区 分		4年度決算額	5年度決算額	6年度決算額	7年度当初予算額	
事業に要するコスト	事業費①	430,000 千円	378,000 千円	375,000 千円	425,000 千円	
	経費内訳	報酬・賃金	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
		委託料	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
		補助金・交付金	430,000 千円	378,000 千円	375,000 千円	425,000 千円
		貸付金	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
		その他	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	(財源内訳)	(国庫)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)
		(特定:芸術文化センター事業基金繰入金、宝くじ発行益収)	(430,000千円)	(378,000千円)	(375,000千円)	(425,000千円)
		(起債)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)
		(一般財源)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)
	予算額② ※精算補正前の予算を記載		430,000 千円	378,000 千円	375,000 千円	425,000 千円
	執行率 ((①/②) × 100)		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
	人件費③ (a+b+c)	従事人員	12.0人	12.0人	12.0人	12.0人
			99,084 千円	99,000 千円	103,428 千円	107,964 千円
職員給与費 a		85,632 千円	85,872 千円	88,668 千円	94,836 千円	
賞与引当金繰入額 b		6,996 千円	7,128 千円	7,488 千円	7,128 千円	
退職手当引当金繰入額 c		6,456 千円	6,000 千円	7,272 千円	6,000 千円	
総コスト (①+③)		529,084 千円	477,000 千円	478,428 千円	532,964 千円	

事務事業評価調書

評価	指標名	区分	4年度実績	5年度実績	6年度実績	7年度目標	最終目標【年度】
	評価	成果指標（アウトカム指標①） 芸術文化センター自主公演入館者数	目標	300,000	300,000	300,000	300,000
実績（見込）			282,257	311,210	322,907	(300,000)	【各年度】
(単位当たりコスト)			(2千円)	(2千円)	(1千円)	-(2千円)	/
達成率（見込）			94.1%	103.7%	107.6%	-(100.0%)	
成果指標（アウトカム指標②） 「兵庫のゆたかさ指標」県民意識調査における「暮らしの中で芸術文化を楽しむ機会を持っていると思う人の割合」		目標	40	40	40	40	50
		実績（見込）	39.0	37.6	39.2	40.0	【R7年度】
		(単位当たりコスト)	(13,566千円)	(12,686千円)	(12,205千円)	(13,324千円)	/
		達成率（見込）	97.5%	94.0%	98.0%	(100.0%)	
成果指標（アウトカム指標③）		目標					/
		実績（見込）					
		(単位当たりコスト)	--	--	--	--	
		達成率（見込）	--	--	--	--	
指標	活動指標（アウトプット指標①） 年間ホール稼働日数	目標	200	200	200	200	200
		実績（見込）	326	339	342	(336)	【各年度】
		(単位当たりコスト)	(1,623千円)	(1,407千円)	(1,399千円)	(1,586千円)	/
		達成率（見込）	163.0%	169.5%	171.0%	(168.0%)	
	活動指標（アウトプット指標②）	目標					/
		実績（見込）					
		(単位当たりコスト)	--	--	--	--	
		達成率（見込）	--	--	--	--	
	活動指標（アウトプット指標③）	目標					/
		実績（見込）					
		(単位当たりコスト)	--	--	--	--	
		達成率（見込）	--	--	--	--	
目標	終期設定	有（ ） ・ (無)					
	改善基準	あり方検討会の結果等を踏まえて検討					
自己評価	評価の視点	評価		目標に対する達成状況（総合的評価）			
	<p>○有効性（評価指標に対する実績）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県民ニーズを的確に踏まえた事業か ・ 民間での事業実施は見込めない事業か ・ 指標・目標設定は適切か ・ 活動実績は十分か ・ 想定された成果を達成しているか など <p>○効率性（最小のコストで最大の効果）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 業務改革に取り組んでいるか ・ コスト削減の工夫を行っているか ・ ICTや民間活力は活用しているか ・ 受益者負担は適正か ・ 財源確保の工夫を行っているか など 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者アンケートを踏まえて魅力ある公演づくりに取り組んでいる。 ・ R2・3は新型コロナウイルスの影響で事業の中止・延期を余儀なくされたが、予防対策を講じて公演を実施したほかやオンライン配信を行うなど県民のニーズに応じて事業を実施した。 ・ コロナ禍においても自主事業の実施や感染症予防対策により施設の稼働率は高かった。 ・ 本格的な舞台芸術専門劇場としての評価が観客及び国内外の芸術家にも定着しており、文化芸術振興の拠点となっている。 ・ 幅広い県民に公演を提供するという目的に対し、指標・目標設定は適切である。 		<ul style="list-style-type: none"> ・ R2・3年度は新型コロナウイルス感染症の影響が続き、公演中止や観客数の制限により自主公演入館者数は目標に達しなかったものの、芸術文化協会が持つ専門性と蓄積されたノウハウにより、機動的・柔軟に対応し事業を実施してきた。 ・ R6年度は主催事業数・公演数の合計でR元年度の約97%ととなり、ほぼコロナ前の水準へと回復してきている。施設の稼働日数は目標に達しており、施設利用者アンケートにおいても高い評価を得ている。 ・ 令和7年3月に公演入場者数が900万人に達するなど、県民に優れた舞台芸術の鑑賞機会を提供するために必要な事業である。 			
評価	課題・今後の方向性						
	<input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 他事業と統合 <input type="checkbox"/> その他 <p>説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 引き続き、多彩な舞台芸術を創造・発信し、幅広いニーズに応える上演を行うとともに、舞台芸術の普及や県民創造活動の支援を行っていく。 ・ 特に、若い観客を増やしていくために、ターゲット層のニーズに応じた魅力ある公演の実施やSNSの活用等を図っていく。 						

事務事業評価調書

事業名	兵庫陶芸美術館企画・展覧会の実施				部(局)	県民生活部
					所管課	芸術文化課
					担当班	企画運営班
					連絡先	078-362-3146
開始年度	平成17年度	終了年度	—	関連計画等	—	
事業区分	<input type="checkbox"/> 国補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 県単独事業					
実施方法	<input type="checkbox"/> 直執行 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他()				実施主体等	展覧会実行委員会
事業目的	陶芸をテーマとした展覧会を開催し、作品鑑賞を通して県民の豊かな感性を育むと共に、古くから盛んであった兵庫県のやきものの伝統と文化、そして貴重な技術を次世代に伝えることを目的とする。					
事業概要	立杭地域に集客が多い春季および秋季は、当館だけでは開催が困難な国内外の著名な陶磁器を紹介する巡回展や、学芸員の専門分野を活かした特別展を開催し、比較的集客が少ない夏季および冬季は、当館の収蔵品を中心とした特色ある展覧会を開催する。 常設展「丹波焼の世界」では、年1回の展示替えを行い、800年以上の歴史を誇る丹波焼の魅力を発信する。					
これまでの改善状況	陶芸（特に古陶磁）は根強いファンがいる一方、広がりには欠けるほか、年齢層にも偏りが見られるため、陶芸の枠を越えた企画（フィンランド・デザイン展、ガラス工芸など）や幅広い展覧会を開催。展覧会毎に出品料や集客見込等を考慮し、適正な観覧料を設定。					
業務フロー	企画・立案（県）→実行委員会に委託・交付（県）→実績報告（事業者）→実績確認・精算（県）					

区 分		4年度決算額	5年度決算額	6年度決算額	7年度当初予算額	
事業に要するコスト	事業費①	85,000千円	85,000千円	85,000千円	85,000千円	
	経費内訳	報酬・賃金	0千円	0千円	0千円	0千円
		委託料	85,000千円	85,000千円	85,000千円	85,000千円
		補助金・交付金	0千円	0千円	0千円	0千円
		貸付金	0千円	0千円	0千円	0千円
		その他	0千円	0千円	0千円	0千円
	（財源内訳）	（国庫）	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)
		（特定：兵庫陶芸美術館展覧会配分金、宝くじ発行益収入）	(50,176千円)	(52,200千円)	(52,200千円)	(60,000千円)
		（起債）	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)
		（一般財源）	(34,824千円)	(32,800千円)	(32,800千円)	(25,000千円)
	予算額② ※精算補正前の予算を記載		85,000千円	85,000千円	85,000千円	85,000千円
	執行率（(①/②）×100）		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
	人件費③（a+b+c）	従事人員	8.6人	8.6人	8.6人	8.6人
			71,010千円	70,950千円	74,123千円	77,374千円
職員給与費 a		61,370千円	61,542千円	63,545千円	67,966千円	
賞与引当金繰入額 b		5,014千円	5,108千円	5,366千円	5,108千円	
退職手当引当金繰入額 c		4,627千円	4,300千円	5,212千円	4,300千円	
総コスト（①+③）		156,010千円	155,950千円	159,123千円	162,374千円	

事務事業評価調書

評価	指標名	区分	4年度実績	5年度実績	6年度実績	7年度目標	最終目標【年度】
	評価	成果指標（アウトカム指標①） 施設内入場者数	目標	100,000	100,000	100,000	100,000
実績（見込）			85,917	82,517	66,457	(100,000)	【各年度】
（単位当たりコスト）			(2千円)	(2千円)	(2千円)	(2千円)	
達成率（見込）			85.9%	82.5%	66.5%	(100.0%)	
成果指標（アウトカム指標②）		目標					
		実績（見込）					
		（単位当たりコスト）	--	--	--	--	
		達成率（見込）	--	--	--	--	
成果指標（アウトカム指標③）		目標					
		実績（見込）					
		（単位当たりコスト）	--	--	--	--	
		達成率（見込）	--	--	--	--	
指標	活動指標（アウトプット指標①） 出前事業、展覧会鑑賞学習等の実施校数	目標	60	60	60	60	60
		実績（見込）	45	41	40	(60)	【各年度】
		（単位当たりコスト）	(3,467千円)	(3,804千円)	(3,978千円)	(2,706千円)	
		達成率（見込）	75.0%	68.3%	66.7%	(100.0%)	
	活動指標（アウトプット指標②）	目標					
		実績（見込）					
		（単位当たりコスト）	--	--	--	--	
		達成率（見込）	--	--	--	--	
	活動指標（アウトプット指標③）	目標					
		実績（見込）					
		（単位当たりコスト）	--	--	--	--	
		達成率（見込）	--	--	--	--	
目標	終期設定	有（ ）					無
	改善基準						
自己評価	評価の視点	評価		目標に対する達成状況（総合的評価）			
	<p>○有効性（評価指標に対する実績）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県民ニーズを的確に踏まえた事業か ・民間での事業実施は見込めない事業か ・指標・目標設定は適切か ・活動実績は十分か ・想定された成果を達成しているかなど <p>○効率性（最小のコストで最大の効果）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・業務改革に取り組んでいるか ・コスト削減の工夫を行っているか ・ICTや民間活力は活用しているか ・受益者負担は適正か ・財源確保の工夫は行っているかなど 	<p>令和6年度は女性に人気が高い「フィンランド・グラスアート」や開館20周年記念展として丹波立杭陶磁器協同組合との共催による「TAMBA NOW」の他、近年の収蔵作品の受贈記念展である「高瀬正義コレクション」など、多彩な展覧会を開催したが、大きなヒットがなく集客には苦戦した。なお、アンケートについてはいずれも高い評価を得た。</p> <p>展覧会経費は、展示構成費や運送費等人件費が高騰する中でも、仕様や発注時期を見直してコスト削減を図るとともに、文化庁補助金等の外部資金を活用し財源確保にも努めた。さらに、展覧会の知名度を高めるため、関連イベントの実施やSNS等新しい広報媒体を使った情報発信などを行った。</p>		<p>来館者数は各年度の展覧会の内容により左右されるが、令和6年度は人気のある巡回展を実施することができなかったため、目標値の67%にとどまった。展覧会経費については、コスト削減に努め、文化庁補助金など外部資金も積極的に活用し財源確保に努めた。</p>			
評価	課題・今後の方向性						
	<input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 他事業と統合 <input checked="" type="checkbox"/> その他 <p>説明</p> <ul style="list-style-type: none"> 展覧会赤字の削減 ①展覧会経費の削減 <ul style="list-style-type: none"> ・さらなる外部資金の確保 ・印刷物作成（ポスター、チラシ、チケット図録等）の一括契約の検討 ・収蔵品のさらなる活用 ②観覧料収入確保 <ul style="list-style-type: none"> ・効果的な広報戦略の検討、実施 						

事務事業評価調書

事業名	横尾忠則現代美術館企画・展覧会の実施				部(局)	県民生活部
					所管課	芸術文化課
					担当班	企画運営班
					連絡先	078-362-3146
開始年度	平成24年度	終了年度	—	関連計画等		
事業区分	<input type="checkbox"/> 国補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 県単独事業					
実施方法	<input type="checkbox"/> 直執行 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他()				実施主体等	(公財)兵庫県芸術文化協会
事業目的	横尾忠則氏の絵画を中心に、幅広く現代の表現に特化した展覧会を開催することを通して、世界的アーティストとの出会いを体験できる場を創出する。					
事業概要	兵庫県出身で世界的にも高く評価されている作家・横尾忠則氏の作品を鑑賞する機会を提供し、その魅力を広く発信するため、(公財)兵庫県芸術文化協会に展覧会開催経費を補助する。					
これまでの改善状況	横尾氏の作品を主とした展覧会が続くため、来館者の層が固定化してしまう面もあるが、展示・演出に工夫を凝らし魅力ある展覧会の企画に努めている。 SNS発信や動画作成、感染症対策を講じたイベント開催など、コロナ禍で落ち込んだ入館者数の回復に向けた積極的な取組を行い、展覧会入場者数は、令和4年度は歴代2位、翌5年度は歴代3位、6年度は歴代4位となるなど好調である。					
業務フロー	計画・申請(事業者)→受付・交付(県)→実施・実績報告(事業者)→交付額確定(県)					

区 分		4年度決算額	5年度決算額	6年度決算額	7年度当初予算額	
事業に要するコスト	事業費①	24,000千円	24,000千円	24,000千円	24,000千円	
	経費内訳	報酬・賃金	0千円	0千円	0千円	0千円
		委託料	0千円	0千円	0千円	0千円
		補助金・交付金	24,000千円	24,000千円	24,000千円	24,000千円
		貸付金	0千円	0千円	0千円	0千円
		その他	0千円	0千円	0千円	0千円
	(財源内訳)	(国庫)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)
		(特定:宝くじ社会貢献広報事業費)	(5,000千円)	(5,000千円)	(5,000千円)	(5,000千円)
		(起債)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)
		(一般財源)	(19,000千円)	(19,000千円)	(19,000千円)	(19,000千円)
	予算額② ※精算補正前の予算を記載		24,000千円	24,000千円	24,000千円	24,000千円
	執行率((①/②)×100)		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
	人件費③(a+b+c)	従事人員	6.1人	6.1人	6.1人	6.1人
		50,368千円	50,325千円	52,576千円	54,882千円	
職員給与費 a		43,530千円	43,652千円	45,073千円	48,208千円	
賞与引当金繰入額 b		3,556千円	3,623千円	3,806千円	3,623千円	
退職手当引当金繰入額 c		3,282千円	3,050千円	3,697千円	3,050千円	
総コスト(①+③)		74,368千円	74,325千円	76,576千円	78,882千円	

事務事業評価調書

評価	指標名	区分	4年度実績	5年度実績	6年度実績	7年度目標	最終目標【年度】
	評価	成果指標（アウトカム指標①）	目標	70,000	70,000	70,000	70,000
横尾忠則現代美術館入館者数 （地域創生戦略事業進捗指標（事業KPI））		実績（見込）	57,675	58,718	51,573	(70,000)	【各年度】
		（単位当たりコスト）	(1千円)	(1千円)	(2千円)	(1千円)	
		達成率（見込）	82.4%	(83.9%)	73.7%	(100.0%)	
成果指標（アウトカム指標②）		目標	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500
展覧会関連事業参加者数		実績（見込）	1,228	653	824	(1,500)	【各年度】
		（単位当たりコスト）	(61千円)	(117千円)	(96千円)	(53千円)	
		達成率（見込）	81.9%	(43.5%)	(54.9%)	(100.0%)	
成果指標（アウトカム指標③）		目標					
		実績（見込）					
		（単位当たりコスト）	--	--	--	--	
		達成率（見込）	--	--	--	--	
	活動指標（アウトプット指標①）	目標	3	3	3	3	3
展覧会実施回数	実績（見込）	3	3	3	(3)	【各年度】	
	（単位当たりコスト）	(24,789千円)	(24,775千円)	(25,525千円)	(26,294千円)		
	達成率（見込）	100.0%	100.0%	(100.0%)	(100.0%)		
	活動指標（アウトプット指標②）	目標					
	実績（見込）						
	（単位当たりコスト）	--	--	--	--		
	達成率（見込）	--	--	--	--		
	活動指標（アウトプット指標③）	目標					
	実績（見込）						
	（単位当たりコスト）	--	--	--	--		
	達成率（見込）	--	--	--	--		
	終期設定	有（ ） ・ 無					
改善基準							
自己評価	評価の視点	評価		目標に対する達成状況（総合的評価）			
	○有効性（評価指標に対する実績）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県民ニーズを的確に踏まえた事業か ・ 民間での事業実施は見込めない事業か ・ 指標・目標設定は適切か ・ 活動実績は十分か ・ 想定された成果を達成しているか など 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 横尾忠則現代美術館の展覧会入場者数は、令和4年度は歴代2位、5年度は歴代3位、6年度は歴代4位となるなど好調であり、現代美術の普及とまちの賑わいづくりに寄与している。 ・ 利用者ニーズの把握のために実施しているアンケート（紙、Web）で、利用者の満足度は高く、今後も展覧会の企画や広報に工夫していきたい。 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 横尾氏の作品に限定される制約はあるが、展示の見せ方を工夫するとともに、SNSを活用した広報に力を入れることにより、目標に達しなかったものの5万人を上回る入館・入場数を確保している。 ・ 横尾忠則氏の作品を多数所蔵する唯一無二の美術館として、貴重な美術品や資料を適切に保存・展示し、県民に優れた作品の鑑賞機会を提供することができており、意義ある事業である。 	
自己評価	○効率性（最小のコストで最大の効果）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 業務改革に取り組んでいるか ・ コスト削減の工夫を行っているか ・ ICTや民間活力は活用しているか ・ 受益者負担は適正か ・ 財源確保の工夫を行っているか など 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 年3本の展覧会は、規模に応じて事業費を調整し、総事業費を低減する工夫を行っている。 ・ 積極的に外部資金の獲得に努めており、令和6年度は（一財）地域創造の助成金を確保することができた。 			
	課題・今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 他事業と統合 <input type="checkbox"/> その他					
自己評価	説明	<ul style="list-style-type: none"> ・ 魅力的な展覧会の企画に加え、特に若い世代に向けたSNSを用いた発信やイベントを充実させることにより、入館者の増加を図る。 					

事務事業評価調書

事業名	子ども伝統文化わくわく体験教室				部(局)	県民生活部				
					所管課	芸術文化課				
					担当班	芸術文化振興班				
					連絡先	078-362-3171				
開始年度	平成27年度	終了年度	—	関連計画等	芸術文化振興ビジョン					
事業区分	<input type="checkbox"/> 国補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 県単独事業									
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直執行 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他()				実施主体等					
事業目的	伝統文化団体が、小・中・高校の授業において行う伝統文化の体験事業の実施を支援することによって、伝統文化の若年層への浸透を図る。									
事業概要	伝統文化団体（いけばな、茶道等）を対象に、小・中・高校に講師を派遣し複数回の体験教室を行う際の経費の一部を補助する。									
これまでの改善状況	H28 分野追加（琴、日本舞踊、能・狂言）									
業務フロー	<pre> graph TD A[学校] -- ①希望調査 --> B[県] B -- ②実施決定 --> A C[文化団体] -- ③講師派遣 --> A B -- ⑤補助 --> C A -- ④体験教室実施 --> D[] </pre>									
事業に要するコスト	区 分		4 年度決算額	5 年度決算額	6 年度決算額	7 年度当初予算額				
	事業費①		10,194 千円	7,545 千円	7,942 千円	8,400 千円				
	経費内訳	報酬・賃金	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円				
		委託料	1,265 千円	0 千円	0 千円	0 千円				
		補助金・交付金	8,929 千円	7,545 千円	7,942 千円	8,400 千円				
		貸付金	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円				
		その他	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円				
	(財源内訳)	(国庫)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)				
		(特定: 芸術文化振興基金繰入金、宝くじ発行益収入)	(10,194千円)	(7,545千円)	(7,942千円)	(8,400千円)				
		(起債)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)				
		(一般財源)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)				
	予算額② ※精算補正前の予算を記載		11,120 千円	8,400 千円	8,400 千円	8,400 千円				
	執行率 ((①/②) × 100)		91.7%	89.8%	94.5%	100.0%				
	人件費③ (a+b+c)		従事人員	0.3人	従事人員	0.3人	従事人員	0.3人	従事人員	0.3人
					2,477 千円	2,475 千円	2,586 千円	2,699 千円		
職員給与費			a	2,141 千円	2,147 千円	2,217 千円	2,371 千円			
賞与引当金繰入額			b	175 千円	178 千円	187 千円	178 千円			
退職手当引当金繰入額			c	161 千円	150 千円	182 千円	150 千円			
総コスト (①+③)		12,671 千円	10,020 千円	10,528 千円	11,099 千円					

事務事業評価調書

評価	指標名	区分	3年度実績	4年度実績	5年度実績	6年度目標	最終目標【年度】
	評価	成果指標（アウトカム指標①）	目標	175	50%	50%	50%
【～R3】体験教室開催回数		実績（見込）	159	39.0%	37.6%	(39.2%)	【R7年度】
「兵庫のゆたかさ指標」県民意識調査における「暮らしの中で芸術文化を楽しむ機会を持っていると思う人の割合」		(単位当たりコスト)	(80千円)	(25,692千円)	(27,999千円)	(28,314千円)	
		達成率（見込）	90.9%	78%	(75.2%)	(78.4%)	
成果指標（アウトカム指標②）		目標					
		実績（見込）					
		(単位当たりコスト)	--	--	--	--	
		達成率（見込）	--	--	--	--	
成果指標（アウトカム指標③）		目標					
		実績（見込）					
		(単位当たりコスト)	--	--	--	--	
		達成率（見込）	--	--	--	--	
指標	活動指標（アウトプット指標①）	目標	70	60	60	60	80
	体験教室実施校数 (地域創生戦略事業進捗指標（事業KPI）)	実績（見込）	69	61	63	(66)	【R7年度】
		(単位当たりコスト)	(184千円)	(164千円)	(167千円)	(168千円)	
		達成率（見込）	98.6%	101.7%	105.0%	(110.0%)	
		活動指標（アウトプット指標②）	目標				
		実績（見込）					
		(単位当たりコスト)	--	--	--	--	
		達成率（見込）	--	--	--	--	
	活動指標（アウトプット指標③）	目標					
		実績（見込）					
		(単位当たりコスト)	--	--	--	--	
		達成率（見込）	--	--	--	--	
目標	終期設定	有（ ） ・ 無					
	改善基準						
自己評価	評価の視点	評価		目標に対する達成状況（総合的評価）			
	○有効性（評価指標に対する実績）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県民ニーズを的確に踏まえた事業か ・ 民間での事業実施は見込めない事業か ・ 指標・目標設定は適切か ・ 活動実績は十分か ・ 想定された成果を達成しているか など 		R6年度も応募校が予定を大幅に上回っており（約1.6倍）、実施校数の目標値を達成する見込みである。事業実施後の学校アンケート（R5）でも「引き続き実施したい」との回答が97%であり、非常にニーズが高い。		学校では伝統文化を指導するための資材（琴など）や人材が乏しく、本事業が児童・生徒にとって伝統文化を実際に体験しながら学ぶ貴重な機会となっており、学校からも評価が高い。	
自己評価	○効率性（最小のコストで最大の効果）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 業務改革に取り組んでいるか ・ コスト削減の工夫を行っているか ・ ICTや民間活力は活用しているか ・ 受益者負担は適正か ・ 財源確保の工夫を行っているか など 		各学校への周知は教育委員会を通じて行うなど、関係機関の協力を得て効率的な事業実施ができています。			
	課題・今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 他事業と統合 <input type="checkbox"/> その他					
自己評価	説明	学校や文化団体の意見等を踏まえ必要に応じて事業の改善を図りながら、今後も引き続き若年層への伝統文化の浸透を図る。					

事務事業評価調書

事業名	舞台芸術鑑賞機会創出事業				部(局)	県民生活部				
					所管課	芸術文化課				
					担当班	芸術文化振興班				
					連絡先	078-362-3171				
開始年度	令和4年度	終了年度	令和6年度	関連計画等	芸術文化振興ビジョン					
事業区分	<input type="checkbox"/> 国補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 県単独事業									
実施方法	<input type="checkbox"/> 直執行 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他()				実施主体等	(公財)兵庫県芸術文化協会				
事業目的	青少年に身近な場所で舞台芸術を鑑賞する機会を提供するとともに、県内アーティストに発表の機会を提供し活動の活性化を図る。									
事業概要	文化ホール等の設置者、公演を主催する実行委員会を対象に、県内アーティストが出演する有料公演で、座席の一定数を学生向けに無料開放する公演にかかる経費の一部を補助する。									
これまでの改善状況	-									
業務フロー	<pre> graph TD 事業者[事業者] -- 申請 --> 芸術文化協会[芸術文化協会] 芸術文化協会 -- 審査・交付決定 --> 事業者 県[県] -- 補助 --> 芸術文化協会 </pre>									
事業に要するコスト	区 分		4年度決算額	5年度決算額	6年度決算額	7年度当初予算額				
	事業費①		19,140千円	14,961千円	13,638千円	0千円				
	経費内訳	報酬・賃金	0千円	0千円	0千円	0千円				
		委託料	0千円	0千円	0千円	0千円				
		補助金・交付金	19,140千円	14,961千円	13,638千円					
		貸付金	0千円	0千円	0千円	0千円				
		その他	0千円	0千円	0千円	0千円				
	(財源内訳)	(国庫:新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金)	(19,140千円)	(0千円)	(0千円)					
		(特定:芸術文化振興基金繰入金、宝くじ発行益収入)	(0千円)	(14,961千円)	(13,638千円)					
		(起債)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)				
		(一般財源)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)				
	予算額② ※精算補正前の予算を記載		20,000千円	20,000千円	20,000千円					
	執行率 ((①/②) × 100)		95.7%	74.8%	68.2%	--				
	人件費③ (a+b+c)		従事人員	0.1人	従事人員	0.1人	従事人員	0.1人	従事人員	
				826千円	825千円	862千円	0千円			
職員給与費 a			714千円	716千円	739千円					
賞与引当金繰入額 b			58千円	59千円	62千円					
退職手当引当金繰入額 c			54千円	50千円	61千円					
総コスト (①+③)		19,966千円	15,786千円	14,500千円	0千円					

事務事業評価調書

評価	指標名	区分	4年度実績	5年度実績	6年度実績	7年度目標	最終目標【年度】
	評価	成果指標（アウトカム指標①）	目標	8,000	14,400	18,800	
本事業による鑑賞者数		実績（見込）	8,701	9,528	7,504		
		（単位当たりコスト）	（2千円）	（2千円）	（2千円）	--	
		達成率（見込）	108.8%	66.2%	40%	--	
成果指標（アウトカム指標②）		目標	40	40	40		/
「兵庫のゆたかさ指標」県民意識調査における「暮らしの中で芸術文化を楽しむ機会を持っていると思う人の割合」		実績（見込）	39.0	37.6	39.2		
		（単位当たりコスト）	（512千円）	（420千円）	（370千円）	--	
		達成率（見込）	97.5%	94.0%	98%	--	
成果指標（アウトカム指標③）		目標					/
		実績（見込）					
		（単位当たりコスト）	--	--	--	--	
		達成率（見込）	--	--	--	--	
指標	活動指標（アウトプット指標①）	目標	40	40	40		/
	公演実施数	実績（見込）	33	32	36		
		（単位当たりコスト）	（605千円）	（493千円）	（403千円）	--	
		達成率（見込）	82.5%	80.0%	（90.0%）	--	
	活動指標（アウトプット指標②）	目標					/
		実績（見込）					
		（単位当たりコスト）	--	--	--	--	
		達成率（見込）	--	--	--	--	
	活動指標（アウトプット指標③）	目標					/
		実績（見込）					
		（単位当たりコスト）	--	--	--	--	
		達成率（見込）	--	--	--	--	
目標	終期設定	○有（令和6年度） ・ 無					
	改善基準						
自己評価	評価の視点	評価		目標に対する達成状況（総合的評価）			
	○有効性（評価指標に対する実績）	クラシック音楽や伝統芸能、演劇など幅広いジャンルを支援しており、青少年が無料で気軽に優れた舞台芸術を鑑賞する機会を提供できている。		青少年が優れた舞台芸術を鑑賞することができる貴重な機会となっている。鑑賞者数は前年度を下回り、目標達成には至らなかった。			
自己評価	○効率性（最小のコストで最大の効果）	必要書類のダウンロードや申請書のメール提出など、手続きのオンライン化による業務改善に取り組んでいる。また、補助率は1/2(上限額あり)としており、事業者にも応分の負担を求めている。					
	課題・今後の方向性	<input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 他事業と統合 <input checked="" type="checkbox"/> その他 説明 地域で親しむ舞台芸術応援事業に組み換えのため、R7年度より廃止					

事務事業評価調書

事業名	ひょうごプレミアム芸術デーの開催				部(局)	県民生活部
					所管課	芸術文化課
					担当班	企画運営班
					連絡先	078-362-3146
開始年度	令和4年度	終了年度	令和7年度	関連計画等	芸術文化振興ビジョン	
事業区分	<input type="checkbox"/> 国補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 県単独事業					
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直執行 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他()				実施主体等	県・(公財)兵庫県 芸術文化協会
事業目的	県民が芸術文化に親しみ、より身近に感じられる機会を提供し、兵庫の魅力の再発見やふるさと意識に根ざした兵庫の文化の継承・発展を図り、芸術文化立県ひょうごの実現を目指す。					
事業概要	・芸術文化施設の無料開放、無料イベント、障害のある方や子育て世帯にも配慮した取組の実施					
これまでの改善状況	R4年度は県立9施設のみで実施したが、R5年度からは新たに趣旨に賛同する市町立施設・民間施設に対象を拡充するとともに、障害のある方や子育て中の方が鑑賞しやすい環境づくりやナイトミュージアムなど子供の体験機会の創出に取り組んでいる。 また、参加者数や来館者アンケートの結果を参加施設などに提供している。					
業務フロー	①参加施設の募集 ②事業の広報 ③各施設で無料開放や無料イベントを実施、県立施設でアンケートを実施 ④アンケート結果などを参加施設へ提供					
事業に要するコスト	区 分		4年度決算額	5年度決算額	6年度決算額	7年度当初予算額
	事業費①		7,346千円	11,087千円	11,445千円	9,591千円
	経費内訳	報酬・賃金	0千円	0千円	0千円	0千円
		委託料	5,000千円	7,544千円	7,841千円	7,154千円
		補助金・交付金	1,814千円	1,488千円	1,124千円	0千円
		貸付金	0千円	0千円	0千円	0千円
		その他	532千円	2,055千円	2,480千円	2,437千円
	(財源内訳)	(国庫)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)
		(特定)(芸術文化振興基金、ふるさとひょうご寄附金)	(0千円)	(8,495千円)	(9,910千円)	(9,591千円)
		(起債)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)
		(一般財源)	(7,346千円)	(2,592千円)	(1,535千円)	(0千円)
	予算額② ※精算補正前の予算を記載		7,540千円	8,495千円	9,910千円	9,591千円
	執行率 ((①/②) × 100)		97.4%	130.5%	115.5%	100.0%
	人件費③ (a+b+c)		従事人員 1.0人	従事人員 1.0人	従事人員 1.0人	従事人員 1.0人
			8,257千円	8,250千円	8,619千円	8,997千円
職員給与費	a	7,136千円	7,156千円	7,389千円	7,903千円	
賞与引当金繰入額	b	583千円	594千円	624千円	594千円	
退職手当引当金繰入額	c	538千円	500千円	606千円	500千円	
総コスト (①+③)		15,603千円	19,337千円	20,064千円	18,588千円	

事務事業評価調書

評価	指標名	区分	4年度実績	5年度実績	6年度実績	7年度目標	最終目標【年度】
	評価	成果指標（アウトカム指標①） 住んでる市・町で、芸術文化に接する機会があると思う人の割合（R4～暮らしの中で芸術文化を楽しむ機会を持っている人の割合）	目標	50%	50%	50%	50%
実績（見込）			39.0%	37.6%	39.2%	(50.0%)	【R7年度】
（単位当たりコスト）			(18,336千円)	(29,487千円)	(29,196千円)	(19,182千円)	
達成率（見込）			78.0%	75.2%	(78.4%)	(100.0%)	
成果指標（アウトカム指標②）		目標					
		実績（見込）					
		（単位当たりコスト）	--	--	--	--	
		達成率（見込）	--	--	--	--	
成果指標（アウトカム指標③）		目標					
		実績（見込）					
		（単位当たりコスト）	--	--	--	--	
		達成率（見込）	--	--	--	--	
指標	活動指標（アウトプット指標①） 各施設入館者数（芸術文化センター、兵庫陶芸美術館、横尾忠則現代美術館、尼崎青少年創造劇場）	目標	603,000	603,000	603,000	603,000	603,000
		実績（見込）	502,359	551,061	553,799	(603,000)	【R7年度】
		（単位当たりコスト）	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	
		達成率（見込）	83.3%	91.4%	(91.8%)	(100.0%)	
	活動指標（アウトプット指標②）	目標					
		実績（見込）					
		（単位当たりコスト）	--	--	--	--	
		達成率（見込）	--	--	--	--	
	活動指標（アウトプット指標③）	目標					
		実績（見込）					
		（単位当たりコスト）	--	--	--	--	
		達成率（見込）	--	--	--	--	
目標	終期設定	○（第3期芸術文化振興ビジョンの終期（R7年度））					無
	改善基準	ひょうごビジョン2050で設定している指標（暮らしの中で芸術文化を楽しむ機会を持っている人の割合）が40%を達成した時に見直し実施					
自己評価	評価の視点	評価				目標に対する達成状況（総合的評価）	
	○有効性（評価指標に対する実績） ・県民ニーズを的確に踏まえた事業か ・民間での事業実施は見込めない事業か ・指標・目標設定は適切か ・活動実績は十分か ・想定された成果を達成しているか など	ア 参加施設の増 令和5年度89施設→令和6年度103施設→令和7年度114施設 イ 観覧者数の増加 令和5年度で前週比約2.6倍、令和6年度で前週比約2.3倍の方が観覧 ウ 施設への来館のきっかけ 県立施設で行ったアンケートによると、約57%が「施設への来館が初めて」と回答。 エ 誰もが芸術文化に親しむための取組 一時保育や手話通訳付き解説会などにより、障害のある方や子育て中の方が鑑賞しやすい環境づくりに取り組み				施設入館者数は目標を未達であったが、プレミアム芸術デーに参加された方からは「引き続き実施して欲しい」という意見が多く、県民が芸術文化に親しみ、より身近に感じられる機会となっている。 県民が芸術文化に触れる機会が増加することにより、兵庫の魅力の再発見や、若者への兵庫の文化の継承・発展にも繋がっている。	
評価	○効率性（最小のコストで最大の効果） ・業務改革に取り組んでいるか ・コスト削減の工夫を行っているか ・ICTや民間活力は活用しているか ・受益者負担は適正か ・財源確保の工夫を行っているか など	・各施設において、施設における専門人材を活用しながら事業を実施している。 ・ふるさと寄附による財源確保を、令和5年度より新たに開始している。					
	課題・今後の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 他事業と統合 <input type="checkbox"/> その他						
評価	説明	一定の成果はあげているものの、参加施設数なども頭打ちが見えてきている。県の芸術文化を発信・浸透させていくための新たな展開として「プレミアム芸術デーでの来館者に再訪を促す取組（期間外の広報など）」が出来ないか検討したい					

事務事業評価調書

事業名	アートで躍動Z世代文化部応援プロジェクト				部(局)	県民生活部	
					所管課	芸術文化課	
					担当班	芸術文化振興班	
					連絡先	078-362-3171	
開始年度	令和6年度	終了年度	未定	関連計画等	芸術文化振興ビジョン		
事業区分	<input type="checkbox"/> 国補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 県単独事業						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直執行 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他()					実施主体等	
事業目的	Z世代をはじめとする若者の芸術文化活動を支援するため、若者の芸術文化活動の発表の場を新たに創出するとともに、部活動の地域移行も見据えつつ、多様な分野で専門指導者による指導を行い、本県の優れた芸術文化を継承・発展につなげる。						
事業概要	(1)文化系Z世代の発表の場の創出 「高校生文化部フェス」(文化部高校生によるステージ発表・ブース展示)を開催 (2)文化部合同練習会への支援 複数の高校が共同で実施する文化部合同練習会等に、各分野の専門指導者を講師として派遣						
これまでの改善状況	当初は民間事業者への一括委託を予定していたが、合同練習会事業は、芸術文化団体の協力により高度なレッスンが効果的に実施できるよう、芸術文化団体への補助とし、主体性・専門性をもって多様な分野の団体が質の高い事業を実施できるようにした。						
業務フロー	(1)民間事業者に委託し、事業を実施 (2)芸術文化団体への補助を行い、事業を実施						

区 分		4年度決算額	5年度決算額	6年度決算額	7年度当初予算額	
事業に要するコスト	事業費①	0千円	0千円	7,340千円	8,418千円	
	経費内訳	報酬・賃金				
		委託料			6,214千円	6,258千円
		補助金・交付金			1,126千円	2,160千円
		貸付金				
		その他				
	(財源内訳)	(国庫)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)
		(特定)(芸術文化振興基金、ふるさとひょうご寄附金)			(7,340千円)	(8,418千円)
		(起債)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)
		(一般財源)				
	予算額② ※精算補正前の予算を記載				8,377千円	8,418千円
	執行率((①/②)×100)		--	--	87.6%	100.0%
	人件費③(a+b+c)	従事人員			0.6人	0.6人
			0千円	0千円	5,171千円	5,398千円
職員給与費 a				4,433千円	4,742千円	
賞与引当金繰入額 b				374千円	356千円	
退職手当引当金繰入額 c				364千円	300千円	
総コスト(①+③)		0千円	0千円	12,511千円	13,816千円	

事務事業評価調書

評価	指標名	区分	4年度実績	5年度実績	6年度実績	7年度目標	最終目標【年度】		
	評価	成果指標（アウトカム指標①）	目標	—		40%	40%	50%	
「兵庫のゆたかさ指標」県民意識調査における「暮らしの中で芸術文化を楽しむ機会を持っていると思う人の割合」		実績（見込）	—		39.2%	(45.0%)	【R8年度】		
		(単位当たりコスト)	—	--	(31,917千円)	(30,703千円)			
		達成率（見込）	—	--	(98.0%)	(112.5%)			
		成果指標（アウトカム指標②）	目標						
成果指標（アウトカム指標③）		実績（見込）							
		(単位当たりコスト)	--	--	--	--			
		達成率（見込）	--	--	--	--			
		目標							
指標		活動指標（アウトプット指標①）	目標	—		30	35	40	
		発表会の出演団体数	実績（見込）	—		24	(35)	【R8年度】	
			(単位当たりコスト)	—	--	(521千円)	(395千円)		
	達成率（見込）		—	--	(80.0%)	(100.0%)			
	活動指標（アウトプット指標②）		目標						
	活動指標（アウトプット指標③）	実績（見込）							
		(単位当たりコスト)	--	--	--	--			
		達成率（見込）	--	--	--	--			
		目標							
	目標	終期設定	有（終期）					無	
		改善基準							
	自己評価	評価の視点	評価		目標に対する達成状況（総合的評価）				
<p>○有効性（評価指標に対する実績）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県民ニーズを的確に踏まえた事業か ・ 民間での事業実施は見込めない事業か ・ 指標・目標設定は適切か ・ 活動実績は十分か ・ 想定された成果を達成しているか など <p>○効率性（最小のコストで最大の効果）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 業務改革に取り組んでいるか ・ コスト削減の工夫を行っているか ・ ICTや民間活力は活用しているか ・ 受益者負担は適正か ・ 財源確保の工夫を行っているか など 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 若者の芸術文化活動の発表の場を新たに創出 「高校生文化部フェス」R7.2.1 神戸ハーバーランドスペースシアター 18分野24校参加、来場者約3,000人 ・ 合同練習会事業によりスキルアップや相互交流の場を提供 5分野で合同練習会5回、単独練習会21回開催、参加者474人 		<p>発表の場、合同練習会ともに参加者からの評価は高く、継続した実施を望む声が多数あった。</p>					
評価	課題・今後の方向性								
	<input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 他事業と統合 <input type="checkbox"/> その他								
評価	説明	発表の場、合同練習会ともに参加分野や実施地域を拡大しながら、今後も引き続き若者の芸術文化活動支援に努める。							

事務事業評価調書

事業名	兵庫ひきこもり相談支援センターの運営				部(局)	県民生活部		
					所管課	男女青少年課		
					担当班	青少年育成班		
					連絡先	078-362-3143		
開始年度	平成26年度	終了年度	-	関連計画等				
事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 国補助事業 <input type="checkbox"/> 県単独事業							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直執行 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他()				実施主体等	(公財)兵庫県青少年本部、NPO等		
事業目的	ひきこもり対策を推進するための体制を整備するため、第一次相談窓口としての役割を担う「センター」を設置し、ひきこもり本人や家族等を支援することにより、ひきこもり本人の自立を推進し、本人及び家族等の福祉の増進を図る。							
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 保健・医療、福祉、教育、雇用等34機関で構成する「ひょうごユースケアネット推進会議（兵庫ひきこもり相談支援センター連絡協議会）」のネットワークを生かし、青少年を中心とするひきこもり当事者や家族への支援に努めている。 青少年のための総合相談として電話相談、来所相談、訪問支援を実施している。 							
これまでの改善状況	R4：市町単位で相談窓口が設置されるようになったことを受け、事業の効率化を図るため、ほっとらいん相談実施日を週5から週3に変更 R6：学校との連携強化のため、青少年悩み対策カウンセラーを地域ランチ5箇所に各1名配置							
業務フロー	<ul style="list-style-type: none"> 保健・医療、福祉、教育、雇用等34機関で構成する「ひょうごユースケアネット推進会議（兵庫ひきこもり相談支援センター連絡協議会）」のネットワークを生かし、兵庫県青少年本部を中心に運営。 電話相談は、（公財）兵庫県青少年本部、面接相談や訪問支援は、NPO等民間支援団体の協力を得て、県内5地域で展開。 							
事業に要するコスト	区 分		4年度決算額	5年度決算額	6年度決算額	7年度当初予算額		
	事業費①		14,124千円	11,050千円	24,174千円	26,461千円		
	経費内訳	報酬・賃金	0千円	0千円	0千円	0千円		
		委託料	14,124千円	11,050千円	24,174千円	26,461千円		
		補助金・交付金	0千円	0千円	0千円	0千円		
		貸付金	0千円	0千円	0千円	0千円		
		その他	0千円	0千円	0千円	0千円		
	(財源内訳)	(国庫)	(6,819千円)	(5,525千円)	(9,897千円)	(11,722千円)		
		(特定)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)		
		(起債)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)		
		(一般財源)	(6,820千円)	(5,525千円)	(14,277千円)	(14,739千円)		
	予算額② ※精算補正前の予算を記載		13,639千円	11,497千円	27,067千円	26,461千円		
	執行率 ((①/②) × 100)		103.6%	96.1%	89.3%	100.0%		
	人件費③ (a+b+c)		従事人員	1.0人	従事人員	1.0人	従事人員	1.0人
				8,257千円	8,250千円	8,619千円	8,997千円	
職員給与費 a			7,136千円	7,156千円	7,389千円	7,903千円		
賞与引当金繰入額 b			583千円	594千円	624千円	594千円		
退職手当引当金繰入額 c			538千円	500千円	606千円	500千円		
総コスト (①+③)		22,381千円	19,300千円	32,793千円	35,458千円			

事務事業評価調書

評価	指標名	区分	4年度実績	5年度実績	6年度実績	7年度目標	最終目標【年度】
	評価	成果指標（アウトカム指標①） 電話相談の新規件数	目標	72	72	72	72
実績（見込）			95	59	48	(72)	【各年度】
(単位当たりコスト)			(236 千円)	(327 千円)	(683 千円)	(551 千円)	
達成率（見込）			131.9%	81.9%	66.7%	(100.0%)	
成果指標（アウトカム指標②）		目標	—	—	—	—	—
		実績（見込）	—	—	—	—	—
		(単位当たりコスト)	--	--	--	--	
		達成率（見込）	--	--	--	--	
成果指標（アウトカム指標③）		目標	—	—	—	—	—
		実績（見込）	—	—	—	—	—
		(単位当たりコスト)	--	--	--	--	
		達成率（見込）	--	--	--	--	
指標	活動指標（アウトプット指標①） ほっとらいん相談件数	目標	750	750	750	750	750件
		実績（見込）	633	609	702	(750)	【各年度】
		(単位当たりコスト)	(35 千円)	(32 千円)	(47 千円)	(53 千円)	
		達成率（見込）	84.4%	81.2%	93.6%	(100.0%)	
	活動指標（アウトプット指標②） 来所相談件数	目標	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500件
		実績（見込）	2,314	3,739	4,913	(1,500)	【各年度】
		(単位当たりコスト)	(10 千円)	(5 千円)	(7 千円)	(26 千円)	
		達成率（見込）	154.3%	249.3%	327.5%	(100.0%)	
	活動指標（アウトプット指標③）	目標	—	—	—	—	—
		実績（見込）	—	—	—	—	—
		(単位当たりコスト)	--	--	--	--	
		達成率（見込）	--	--	--	--	
目標	終期設定	有（ ） ・ （無）					
	改善基準						
自己評価	評価の視点	評価		目標に対する達成状況（総合的評価）			
	<p>○有効性（評価指標に対する実績）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県民ニーズを的確に踏まえた事業か ・ 民間での事業実施は見込めない事業か ・ 指標・目標設定は適切か ・ 活動実績は十分か ・ 想定された成果を達成しているか など <p>○効率性（最小のコストで最大の効果）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 業務改革に取り組んでいるか ・ コスト削減の工夫を行っているか ・ ICTや民間活力は活用しているか ・ 受益者負担は適正か ・ 財源確保の工夫は行っているか など 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 不登校の数が増えている中、電話相談や来所・訪問相談の必要性も高まっているため、県が公的な相談機関を運営する意義は高く、引き続き事業の実施は必要である。第一次相談窓口として、ひきこもり当事者や家族への支援、県内の様々な支援窓口や居場所等の情報提供を行っているが、相談機関につながっていない要支援者にさらなる窓口の周知が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ほっとらいん相談については、相談件数が目標を達成できていないので、効果的な窓口の周知に努めることにより、特に新規相談者の利用を進める。 ・ 来所相談、訪問相談業務をNPO法人に委託することにより、地域の実情に応じた相談業務を実施することができた。 ・ 令和6年度のほっとらいん相談（702件）のうち、95.2%にあたる668件が他所へつなぐことなく当該相談のみで解決に至っており、高い割合でワンストップ相談とすることができた。 				
評価	課題・今後の方向性						
	<input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 他事業と統合 <input type="checkbox"/> その他	<p>説明</p> <p>県内に推計約6.3万人の方がひきこもり状態にあるとされており、相談業務につながっていない潜在的なひきこもり者を相談窓口へ誘導し支援につなげるため、広く一般にひきこもり相談について周知を図り、気軽に相談できる支援体制を構築していく。</p> <p>R7は、R6に引き続き学校との連携を強化し、ひきこもり者への早期アプローチに努める。</p>					

事務事業評価調書

事業名	SDGs HYOGO 青年チャレンジ事業				部(局)	県民生活部				
					所管課	男女青少年課				
					担当班	青少年育成班				
					連絡先	078-362-3143				
開始年度	令和5年度	終了年度	—	関連計画等	—					
事業区分	<input type="checkbox"/> 国補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 県単独事業									
実施方法	<input type="checkbox"/> 直執行 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他()				実施主体等	兵庫県青少年本部				
事業目的	①SDGsの理念を基に課題解決に取り組む団体等と連携して、SDGsを切り口として、若者の今日的な課題に向けた関心や地域貢献への意識を高める ②青年団体やNPO等が参画し、相互理解を深め、様々な知識や経験を蓄積し、ネットワークを広げて新たな価値観を活動に取り入れていけるリーダーを育成する									
事業概要	SDGsに関する事業に取り組む青年主体の団体を公募し、これらの団体が地域住民、NPO法人、企業、行政等と連携して、事業実施する体制を支援 《運営団体》青少年団体・グループなど 《助成予定団体》10団体程度 《助成額》200千円(上限)／団体(定額補助)									
これまでの改善状況	R6：助成額を1団体あたり400千円(上限)から200千円(上限)に変更									
業務フロー	(公財) 兵庫県青少年本部への補助 (1)兵庫県青少年本部による公募・補助 SDGsに関する課題に取り組む団体を公募→選定(兵庫県青少年本部等で構成する選定委員会)→助成 (2)チャレンジサポーターによる団体へのサポート 青少年団体と地域の既存団体等との交流機会の創設、その他SNSによる情報発信など									
事業に要するコスト	区 分		4年度決算額		5年度決算額		6年度決算額		7年度当初予算額	
	事業費①		0千円		7,296千円		5,600千円		5,061千円	
	経費内訳	報酬・賃金	0千円		0千円		0千円		0千円	
		委託料	0千円		0千円		0千円		0千円	
		補助金・交付金	0千円		7,296千円		5,600千円		5,061千円	
		貸付金	0千円		0千円		0千円		0千円	
		その他	0千円		0千円		0千円		0千円	
	(財源内訳)	(国庫)	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)	
		(特定)	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)	
		(起債)	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)	
		(一般財源)	(0千円)		(7,296千円)		(5,600千円)		(5,061千円)	
	予算額② ※精算補正前の予算を記載		0千円		7,135千円		5,061千円		5,061千円	
	執行率((①/②)×100)		—		102.3%		110.7%		100.0%	
	人件費③(a+b+c)		従事人員	0.2人	従事人員	0.2人	従事人員	0.2人	従事人員	0.2人
			0千円		1,650千円		1,723千円		1,800千円	
職員給与費 a					1,431千円		1,477千円		1,581千円	
賞与引当金繰入額 b					119千円		125千円		119千円	
退職手当引当金繰入額 c					100千円		121千円		100千円	
総コスト(①+③)		0千円		8,946千円		7,323千円		6,861千円		

事務事業評価調書

評価	指標名	区分	4年度実績	5年度実績	6年度実績	7年度目標	最終目標【年度】
	評価	成果指標（アウトカム指標①） 事業参画者数 （団体青年数+企画事業への参加者数）	目標	—	1,000	8,000	8,000
実績（見込）			—	8,327	5,292	(8,000)	【各年度】
（単位当たりコスト）			—	(1千円)	(1千円)	(1千円)	
達成率（見込）			—	832.7%	(66.2%)	(100.0%)	
成果指標（アウトカム指標②） 若年層のリーダー育成数 （団体青年数）		目標	—	100	100	100	100
		実績（見込）	—	147	121	(100)	【各年度】
		（単位当たりコスト）	—	(61千円)	(61千円)	(69千円)	
		達成率（見込）	—	147.0%	(121.0%)	(100.0%)	
成果指標（アウトカム指標③）		目標					
		実績（見込）					
		（単位当たりコスト）	--	--	--	--	
		達成率（見込）	--	--	--	--	
指標	活動指標（アウトプット指標①） 補助団体数	目標	—	10	10	10	10
		実績（見込）	—	9	9	(12)	【各年度】
		（単位当たりコスト）	—	(994千円)	(814千円)	(572千円)	
		達成率（見込）	—	90.0%	(90.0%)	(120.0%)	
	活動指標（アウトプット指標②）	目標					
		実績（見込）					
		（単位当たりコスト）	--	--	--	--	
		達成率（見込）	--	--	--	--	
	活動指標（アウトプット指標③）	目標					
		実績（見込）					
		（単位当たりコスト）	--	--	--	--	
		達成率（見込）	--	--	--	--	
目標	終期設定	有（ ） ・ （無）					
	改善基準	目標値の概ね8割程度の達成にとどまった場合、補助制度ほか実施体制の見直しを行う					
自己評価	評価の視点	評価	目標に対する達成状況（総合的評価）				
	○有効性（評価指標に対する実績） ・ 県民ニーズを的確に踏まえた事業か ・ 民間での事業実施は見込めない事業か ・ 指標・目標設定は適切か ・ 活動実績は十分か ・ 想定された成果を達成しているか など	SDGsに関する課題に取り組む青年のグループが活動を通じて、地域の既存団体や地域住民との活動連携の機会を得つつ、相互理解を深め、様々な実践活動に取り組むことができていることから、県の次世代を担う青少年育成の取組として有効である。	補助団体数は目標より少なかったが、各団体活動における青年参加者が多くみられたため、リーダー育成数は目標を上回っており、“ネットワークを広げて新たな価値観を活動に取り入れていける人材”の育成に繋げることができている。今後もより多くの青年団体が事業を実施できるよう、効果的なPRを継続し、引き続き青年リーダーの育成とSDGsの普及啓発に取り組む。				
課題・今後の方向性	○効率性（最小のコストで最大の効果） ・ 業務改革に取り組んでいるか ・ コスト削減の工夫を行っているか ・ ICTや民間活力は活用しているか ・ 受益者負担は適正か ・ 財源確保の工夫を行っているか など	地域団体やNPO、企業等と連携することで、効率的に実施できており、また、補助終了後も活動を継続できる体制となっている。					
	<input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 他事業と統合 <input type="checkbox"/> その他 説明 今年度の採択団体・参加青年の活動状況等をふまえ、補助体制のあり方について検討する。また、地元との連携強化や、取り組みの持続性及び発展性を重視した事業展開を通じて、県内地域の活性化と青年リーダーの育成を目指す。						
評価							

事務事業評価調書

事業名	子どもの冒険ひろばの推進				部(局)	県民生活部	
					所管課	男女青少年課	
					担当班	青少年育成班	
					連絡先	078-362-3143	
開始年度	平成15年度	終了年度	令和7年度	関連計画等			
事業区分	<input type="checkbox"/> 国補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 県単独事業						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直執行 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他()				実施主体等	兵庫県青少年本部	
事業目的	①運営団体の財政基盤が脆弱であることに加えて、地域の子育て支援機能の強化を図るため、市町との連携を推進し、協働で体験する機会を増やすなど、ひろばを通じて子どもたちの「ふるさと意識」の確立に取り組む。 ②課題を抱える青少年の居場所としての機能強化を図る。						
事業概要	地域ぐるみの子育てを推進するため、身近な地域の大人が見守る中、子どもたちが自由な発想でのびのびと遊ぶ「子どもの冒険ひろば」の運営を支援 ※令和7年度限りで事業終了 《運営団体》NPO、青少年団体・グループなど 《助成団体数》20団体程度 (R4:36団体 R5:32団体 R6:26団体 R7:26団体) 《助成額》200千円(上限)／団体(定額補助)						
これまでの改善状況	令和6年度に補助上限額を1団体あたり300千円から200千円に変更						
業務フロー	(公財) 兵庫県青少年本部への補助 (1)兵庫県青少年本部による助成 子どもの冒険ひろば実施団体の公募→「子どもの冒険ひろば」補助事業実施団体審査会により選定→採択 (2) 子ども・若者ひろば相談員の設置 個々の運営団体に応じた相談対応、活動に対する指導・助言機能の充実・強化を図るとともに、全県ネットワークの形成に向けたひろば間の連絡・調整等を実施						
事業に要するコスト	区 分		4年度決算額	5年度決算額	6年度決算額	7年度当初予算額	
	事業費①		19,500千円	11,624千円	8,406千円	4,000千円	
	経費内訳	報酬・賃金	0千円	0千円	0千円	0千円	
		委託料	0千円	0千円	0千円	0千円	
		補助金・交付金	19,500千円	11,624千円	8,406千円	4,000千円	
		貸付金	0千円	0千円	0千円	0千円	
		その他	0千円	0千円	0千円	0千円	
	(財源内訳)	(国庫)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	
		(特定)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	
		(起債)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	
		(一般財源)	(19,500千円)	(11,624千円)	(8,406千円)	(4,000千円)	
	予算額② ※精算補正前の予算を記載		20,368千円	12,057千円	8,038千円	4,018千円	
	執行率 ((①/②) × 100)		95.7%	96.4%	104.6%	99.6%	
	人件費③ (a+b+c)		従事人員 0.6人	従事人員 0.5人	従事人員 0.5人	従事人員 0.5人	
			4,955千円	4,125千円	4,310千円	4,499千円	
職員給与費	a	4,282千円	3,578千円	3,695千円	3,952千円		
賞与引当金繰入額	b	350千円	297千円	312千円	297千円		
退職手当引当金繰入額	c	323千円	250千円	303千円	250千円		
総コスト (①+③)		24,455千円	15,749千円	12,716千円	8,499千円		

事務事業評価調書

評価	指標名	区分	4年度実績	5年度実績	6年度実績	7年度目標	最終目標【年度】	
	評価	成果指標（アウトカム指標①）	目標	46,000	46,000	46,000	46,000	46,000
「子どもの冒険ひろば」の利用者数		実績（見込）	32,233	30,706	25,955	(25,955)	【令和7年度】	
		(単位当たりコスト)	(1千円)	(1千円)	(0千円)	(0千円)		
		達成率（見込）	70.1%	66.8%	(56.4%)	(56.4%)		
		成果指標（アウトカム指標②）	目標	—	—	—	—	
「子どもの冒険ひろば」の開設箇所数		実績（見込）	—	—	—	—		
		(単位当たりコスト)	—	—	—	—		
		達成率（見込）	—	—	—	—		
		成果指標（アウトカム指標③）	目標	—	—	—	—	
「子どもの冒険ひろば」の開設箇所数		実績（見込）	—	—	—	—		
		(単位当たりコスト)	—	—	—	—		
		達成率（見込）	—	—	—	—		
	活動指標（アウトプット指標①）	目標	650	675	685	690	690箇所	
「子どもの冒険ひろば」の開設箇所数	実績（見込）	680	682	694	(694)	【令和7年度】		
	(単位当たりコスト)	(36千円)	(23千円)	(18千円)	(12千円)			
	達成率（見込）	104.6%	101.0%	101.3%	(100.6%)			
	活動指標（アウトプット指標②）	目標	—	—	—	—		
「子どもの冒険ひろば」の開設箇所数	実績（見込）	—	—	—	—			
	(単位当たりコスト)	—	—	—	—			
	達成率（見込）	—	—	—	—			
	活動指標（アウトプット指標③）	目標	—	—	—	—		
「子どもの冒険ひろば」の開設箇所数	実績（見込）	—	—	—	—			
	(単位当たりコスト)	—	—	—	—			
	達成率（見込）	—	—	—	—			
	終期設定	有（令和7年度）						無
改善基準								
自己評価	評価の視点	評価					目標に対する達成状況（総合的評価）	
	<p>○有効性（評価指標に対する実績）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県民ニーズを的確に踏まえた事業か ・ 民間での事業実施は見込めない事業か ・ 指標・目標設定は適切か ・ 活動実績は十分か ・ 想定された成果を達成しているか など <p>○効率性（最小のコストで最大の効果）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 業務改革に取り組んでいるか ・ コスト削減の工夫を行っているか ・ ICTや民間活力は活用しているか ・ 受益者負担は適正か ・ 財源確保の工夫を行っているか など 	<p>大人の見守りがあることで、身近で自由に遊べる安全な環境が確保されている。同年代の子ども達との交流による協調性の向上や、自然や野外活動に興味を持つきっかけとなる等、子どもの健全な成長に有効的である。</p> <p>・ 事業の目的、効果の維持を図るため、運営団体においては地域資源（企業、福祉、学校）と連携することで、経費のかからない運営の工夫を行うとともに、事業実施団体である兵庫県青少年本部でも運営の補助を行うスタッフの養成研修を行うなど、人材確保を進めることにより、効率運営に努めている。</p> <p>・ 県政改革方針に基づき、令和7年度での廃止が決定しているが、当該事業の意義やノウハウを継承するため、企業や地域と連携した新たな事業のあり方について、別途検討中。</p>					<p>開設箇所数については、目標どおりにおおむね増えており、冒険ひろばの定着とともに地域ぐるみの子育て機運の醸成や、子どもたちのふるさと意識の醸成に繋がっている。</p> <p>利用者数については、R7年度での事業廃止に伴い、開催回数を減らすなど事業規模を段階的に縮小せざるを得ない団体もあったことから、昨年度を下回っている。</p>	
課題・今後の方向性	<p><input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 他事業と統合 <input checked="" type="checkbox"/> その他</p> <p>説明 県政改革方針に基づき、令和7年度での事業廃止が決定しているが、20年にわたり実施してきた事業の意義や地域におけるノウハウを継承するため、事業廃止後も取組が継続されるよう新たな事業の実施について検討中。 （検討状況） R5～6 「ひょうごっ子野外活動推進委員会」を設置 国委託事業を活用して今後の事業のあり方について検討 （ひろば事業の効果検証、モデル事業の実施、新事業の検討等） R7 R5～6の取組も踏まえ引き続き新事業について検討</p>							

事務事業評価調書

事業名	女性の就業サポート事業				部(局)	県民生活部
					所管課	男女青少年課
					担当班	男女共同参画班
					連絡先	078-362-3160
開始年度	平成24年度	終了年度	—	関連計画等	第4次兵庫県男女共同参画計画「ひょうご男女いきいきプラン2025」	
事業区分	<input type="checkbox"/> 国補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 県単独事業					
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直執行 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他()				実施主体等	県
事業目的	出産や育児等による離職や就労不安などに悩む女性を対象に、再就業や起業を支援する。					
事業概要	県立男女共同参画センターの「女性就業相談室」において、女性の再就職や起業、在宅ワークなどへのチャレンジに関する個別相談、各種セミナーの開催、ハローワークと連携した職業紹介等の実施					
これまでの改善状況	H25.8～ 兵庫労働局との連携により、女性就業相談室内にハローワーク相談窓口を開設					
業務フロー	相談（県民） → 受付（県） → 職業紹介（県、ハローワーク）					

区 分		4年度決算額	5年度決算額	6年度決算額	7年度当初予算額	
事業に要するコスト	事業費①	18,614 千円	19,308 千円	26,617 千円	26,770 千円	
	経費内訳	報酬・賃金	8,583 千円	8,831 千円	11,731 千円	12,717 千円
		委託料	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
		補助金・交付金	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
		貸付金	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
		その他	10,031 千円	10,477 千円	14,886 千円	14,053 千円
	(財源内訳)	(国庫)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)
		(特定)	(18,614千円)	(19,308千円)	(26,617千円)	(26,770千円)
		(起債)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)
		(一般財源)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)
	予算額② ※精算補正前の予算を記載		18,614 千円	19,148 千円	24,977 千円	26,770 千円
	執行率 ((①/②) × 100)		100.0%	100.8%	106.6%	100.0%
	人件費③ (a+b+c)	従事人員	0.2人	0.2人	0.2人	0.2人
				1,652 千円	1,650 千円	1,723 千円
職員給与費 a		1,427 千円	1,431 千円	1,477 千円	1,581 千円	
賞与引当金繰入額 b		117 千円	119 千円	125 千円	119 千円	
退職手当引当金繰入額 c		108 千円	100 千円	121 千円	100 千円	
総コスト (①+③)		20,266 千円	20,958 千円	28,340 千円	28,570 千円	

事務事業評価調書

評価	指標名	区分	4年度実績	5年度実績	6年度実績	7年度目標	最終目標【年度】	
評価	成果指標（アウトカム指標①）	目標	200	200	200	200	200	
		実績（見込）	247	264	213	(200)	【R7年度】	
	女性就業相談室の支援による就職者数	(単位当たりコスト)	(82千円)	(79千円)	(133千円)	(143千円)	/	
		達成率（見込）	123.5%	132.0%	106.5%	(100.0%)		
	成果指標（アウトカム指標②）	目標	—	—	—	—	/	
		実績（見込）	—	—	—	—		
		(単位当たりコスト)	—	—	—	—		
		達成率（見込）	—	—	—	—		
	成果指標（アウトカム指標③）	目標	—	—	—	—	/	
		実績（見込）	—	—	—	—		
		(単位当たりコスト)	—	—	—	—		
		達成率（見込）	—	—	—	—		
	指標	活動指標（アウトプット指標①）	目標	11,000	11,000	11,000	11,000	11,000
			実績（見込）	11,153	11,011	8,617	(11,000)	【R7年度】
		女性就業相談室利用者数	(単位当たりコスト)	(2千円)	(2千円)	(3千円)	(3千円)	/
			達成率（見込）	101.4%	100.1%	78.3%	(100.0%)	
活動指標（アウトプット指標②）		目標	—	—	—	—	/	
		実績（見込）	—	—	—	—		
		(単位当たりコスト)	—	—	—	—		
		達成率（見込）	—	—	—	—		
活動指標（アウトプット指標③）		目標	—	—	—	—	/	
		実績（見込）	—	—	—	—		
		(単位当たりコスト)	—	—	—	—		
		達成率（見込）	—	—	—	—		
目標		終期設定	有（ ） ・ 無					
		改善基準						
自己評価		評価の視点	評価		目標に対する達成状況（総合的評価）			
		○有効性（評価指標に対する実績） ・ 県民ニーズを的確に踏まえた事業か ・ 民間での事業実施は見込めない事業か ・ 指標・目標設定は適切か ・ 活動実績は十分か ・ 想定された成果を達成しているか など	女性就業支援員・保育支援員の配置やベビーカーを横に求人検索や職業相談が受けられる広いスペースにキッズコーナーが隣接、授乳室や絵本コーナーもあり、子育て中の女性が利用しやすい環境が整備されている。		女性就業相談室内において、相談・情報提供から各種セミナーの開催、職業紹介までワンストップで支援する窓口として機能しており、通常は子ども連れではハローワークへ来所しづらい女性からも、安心して利用できること好評を得ている。女性就業相談室の支援による就職者数は毎年度200人を目標値として設定しているが、目標どおりに推移している。 【実績：R4:247人、R5:264人、R6:213人】			
課題・今後の方向性	○効率性（最小のコストで最大の効果） ・ 業務改革に取り組んでいるか ・ コスト削減の工夫を行っているか ・ ICTや民間活力は活用しているか ・ 受益者負担は適正か ・ 財源確保の工夫を行っているか など	女性就業相談室に女性就業支援員・保育支援員の配置に加え、ハローワーク相談窓口を併設し、相談・情報提供から、各種セミナーの開催、職業紹介までワンストップで切れ目のない効率的な事業実施が実現できている。						
	<input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 他事業と統合 <input type="checkbox"/> その他 説明 就業している女性割合の向上を県プランでも目標設定している中で、女性の就業は進んでいるが、女性全体の有業率で見ると50.2%（全国39位）と未だ低水準にとどまっている。（R4就業構造基本調査）「就業を希望しながら働いていない女性」の「働きたい」との希望を実現する支援として、引き続き重点的に取り組む必要がある。							

事務事業評価調書

事業名	ひょうご女性の活躍推進事業				部(局)	県民生活部
					所管課	男女青少年課
					担当班	男女共同参画班
					連絡先	078-362-3160
開始年度	平成27年度	終了年度	—	関連計画等	第4次兵庫県男女共同参画計画「ひょうご男女いきいきプラン2025」	
事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 国補助事業 <input type="checkbox"/> 県単独事業					
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直執行 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他() 実施主体等					
事業目的	県における「女性の活躍」を一層促進するため、社会全体の気運の醸成を図るとともに、職場における意識改革や女性の登用促進、働きやすい職場環境整備等の企業の取組を推進する。また、女性がその希望に応じて仕事と家庭とを両立でき、個性と能力を十分に発揮できる社会の実現と女性の兵庫への定着を目指す。					
事業概要	県立男女共同参画センター内に設置した女性活躍推進センター（H28.6～）を中心に、企業の自主的取組の促進やキャリアアップを目指す女性の支援、次世代を担う女子学生への啓発等を行う。また、令和4年度からは「ひょうご・こうべ女性活躍推進企業（ミモザ企業）認定制度」を創設し、企業が自己診断により、現状を数値化・見える化し、一定基準に達した企業を認定することで、企業の女性活躍推進に向けた取組を後押しする。					
これまでの改善状況	H28.6 県立男女共同参画センター内に女性活躍推進センターを設置し、同センターには女性活躍推進専門員を配置 R1 女性の活躍企業育成プロジェクトの実施 R4 「ひょうご・こうべ女性活躍推進企業（ミモザ企業）認定制度」の創設、 企業の女性社員向け階層別研修会の開始 R6 「ひょうご・こうべ女性活躍推進企業（ミモザ企業）認定制度」に新たな認定区分を導入、女子学生とミモザ企業のマッチング促進事業の開始					
業務フロー	<ul style="list-style-type: none"> 企業の取組支援、セミナーや研修の実施：女性活躍推進センター（専門員による企業訪問 → 個別相談 → セミナー企画 → 専門講師の派遣 → セミナー実施） ひょうご・こうべ女性活躍推進企業（ミモザ企業）認定制度：県直執行 女子学生とミモザ企業のマッチング促進事業：委託 					

区 分		4年度決算額	5年度決算額	6年度決算額	7年度当初予算額	
事業に要するコスト	事業費①	20,544千円	25,892千円	32,967千円	37,991千円	
	経費内訳	報酬・賃金	10,081千円	10,667千円	18,529千円	19,426千円
		委託料	314千円	571千円	3,643千円	4,097千円
		補助金・交付金	245千円	345千円	368千円	1,000千円
		貸付金	0千円	0千円	0千円	0千円
		その他	9,904千円	14,309千円	10,427千円	13,468千円
	（財源内訳）	（国庫）	(5,316千円)	(5,899千円)	(7,200千円)	(8,000千円)
		（特定）	(245千円)	(345千円)	(368千円)	(1,565千円)
		（起債）	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)
		（一般財源）	(14,983千円)	(19,648千円)	(25,399千円)	(28,426千円)
予算額② ※精算補正前の予算を記載		22,095千円	25,892千円	37,088千円	37,991千円	
執行率（(①/②）×100）		93.0%	100.0%	88.9%	100.0%	
人件費③（a+b+c）	従事人員	0.3人	0.3人	0.3人	0.3人	
			2,477千円	2,475千円	2,586千円	2,699千円
	職員給与費 a	2,141千円	2,147千円	2,217千円	2,371千円	
	賞与引当金繰入額 b	175千円	178千円	187千円	178千円	
	退職手当引当金繰入額 c	161千円	150千円	182千円	150千円	
総コスト（①+③）		23,021千円	28,367千円	35,553千円	40,690千円	

事務事業評価調書

評価	指標名	区分	4年度実績	5年度実績	6年度実績	7年度目標	最終目標【年度】
評価	成果指標（アウトカム指標①） 民間における女性管理職比率 （ひょうご男女いきいきプラン2025(R3~R7)） ※直近値：19.1%(R4)	目標	20	20	25	25	25
		実績（見込）	19	19	(25)	(25)	【令和7年度】
		(単位当たりコスト)	(1,076千円)	(1,356千円)	(1,422千円)	(1,628千円)	
		達成率（見込）	95.5%	95.5%	(100.0%)	(100.0%)	
	成果指標（アウトカム指標②） ひょうご・こうべ女性活躍推進企業 （ミモザ企業）認定数(R4~)	目標	30	50	25	25	25
		実績（見込）	70	69	59	(25)	【単年度】
		(単位当たりコスト)	(293千円)	(375千円)	(603千円)	(1,628千円)	
		達成率（見込）	233.3%	138.0%	(236.0%)	(100.0%)	
	成果指標（アウトカム指標③） ひょうご・こうべ女性活躍推進企業 （フレッシュミモザ企業）認定数(R6~)	目標	—	—	50	50	50
		実績（見込）	—	—	85	(50)	【単年度】
		(単位当たりコスト)	--	--	(418千円)	(814千円)	
		達成率（見込）	--	--	(170.0%)	(100.0%)	
指標	活動指標（アウトプット指標①） 中小企業等の階層別女性社員研修会 参加者数(R4~)	目標	60	90	90	90	90
		実績（見込）	104	177	194	(90)	【単年度】
		(単位当たりコスト)	(198千円)	(146千円)	(183千円)	(452千円)	
		達成率（見込）	173.3%	196.7%	215.6%	(100.0%)	
	活動指標（アウトプット指標②）	目標					
		実績（見込）					
		(単位当たりコスト)	--	--	--	--	
		達成率（見込）	--	--	--	--	
	活動指標（アウトプット指標③）	目標					
		実績（見込）					
		(単位当たりコスト)	--	--	--	--	
		達成率（見込）	--	--	--	--	
目標	終期設定	有（ ） ・ 無					
	改善基準						
自己評価	評価の視点	評価		目標に対する達成状況（総合的評価）			
	<p>○有効性（評価指標に対する実績）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県民ニーズを的確に踏まえた事業か ・ 民間での事業実施は見込めない事業か ・ 指標・目標設定は適切か ・ 活動実績は十分か ・ 想定された成果を達成しているか など <p>○効率性（最小のコストで最大の効果）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 業務改革に取り組んでいるか ・ コスト削減の工夫を行っているか ・ ICTや民間活力は活用しているか ・ 受益者負担は適正か ・ 財源確保の工夫を行っているか など 	<p>「女性活躍推進センター」を中心に、女性活躍推進専門員が、企業への個別訪問や課題解決のためのトップ層の意識改革や女性社員のモチベーション向上のための研修を実施するなど、総合的な支援や女性活躍の底上げに繋げている。</p> <p>R4からミモザ企業認定数を指標とすることで、県内の女性活躍の推進状況を効率的に把握し、効果的な業務執行を実現している。また、個別相談支援についても、オンラインでの相談を可能とするなど工夫を行っている。</p>		<p>女性活躍推進専門員による企業訪問等を通じて、女性活躍に向けた取組が広く県内企業に波及している。また、新たに創設した認定企業については、経済・労働等の各種団体と連携により普及を推進することによって広がりを見せており、「女性の活躍推進」に向けた意識が醸成されつつあるといえる。</p>			
評価	課題・今後の方向性						
	<input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 他事業と統合 <input type="checkbox"/> その他	<p>説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 女性の就業率や県外転出が課題であることを踏まえ、女性が働きやすい環境整備を進めるため、関係団体との連携・協働の取組を進め、特に中小企業における取組の推進を引き続き促すことが必要なことから、市町・経済関係団体等と連携し、女性活躍推進のための効果的な事業展開を実施していく。 ・ セミナー参加や個別相談を実施している企業であっても、トップの意識改革が十分でないために企業内での取組に繋がらず、結果として女性活躍推進が図られていない企業が多いことから、従来から実施する個別相談等における説明内容・方法の工夫により、トップへの動機付けに繋がる改善を検討していく。 ・ R7年度は3年経過後の認定の更新を迎える企業があることから、更新を行えるよう、女性活躍推進センターと協働して支援していく。 					

事務事業評価調書

事業名	人権擁護推進等事業費補助				部(局)	県民生活部
					所管課	総務課人権推進室
					担当班	人権推進班
					連絡先	078-362-9135
開始年度	令和5年度	終了年度	令和9年度	関連計画等	兵庫県人権教育及び啓発に関する総合推進指針	
事業区分	<input type="checkbox"/> 国補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 県単独事業					
実施方法	<input type="checkbox"/> 直執行 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他()				実施主体等	県内市町
事業目的	近年、社会情勢の変化により、部落差別をはじめ外国人へのヘイトスピーチや性的マイノリティへの偏見等、人権問題は多様化・複雑化している。これらの問題に柔軟かつ効果的に対応し人権を擁護するため、市町が実施する地域に密着した啓発事業や先駆的な事業を引き続き支援し、本県が取り組む「人権文化をすすめる県民運動」の一層の展開を図る。					
事業概要	市町が実施する人権施策のうち、「啓発支援事業」として講演会等の開催経費、啓発冊子等の作成・購入・配布経費について補助を行うとともに、「擁護推進事業」中に「重点施策普及促進事業」を補助枠として設定し、部落差別、外国人、障害者、性的マイノリティに関する人権啓発活動に係る経費について補助を行う。(補助率1/3)					
これまでの改善状況	S54～「同和問題啓発事業費補助」同和対策特別措置法の延長を契機に、従来の物的事業から啓発事業を展開するため市町に対する補助制度として創設(補助率1/2、上限1,000千円) H9～「人権啓発事業費補助」人権同和対策のみでなく、あらゆる差別の解消を図ることを目的に補助対象を拡充(補助率1/2、上限1,500千円) H20～人権啓発事業の定着等に伴い、補助率を1/3に変更(上限833千円(H23～766千円)) H25～先駆的・モデル的事業の普及を促進するため、「一般事業」と「特別事業」の補助枠を設定(上限730千円) R5～人権侵害の抑止や人権救済へ繋ぐ取組の強化のため、事業を組み替え、「人権擁護推進等事業費補助」として、新たに人権擁護に係る事業を支援する「擁護推進事業」の補助枠を設定					
業務フロー	交付申請(市町)→受付・審査・交付決定(県)→事業実施(市町)→実績報告(市町)→実績確認・確定(県)					

区 分		4年度決算額	5年度決算額	6年度決算額	7年度当初予算額	
事業費①		0千円	13,339千円	13,210千円	18,925千円	
経費内訳	報酬・賃金					
	委託料					
	補助金・交付金		13,339千円	13,210千円	18,925千円	
	貸付金					
	その他					
(財源内訳)	(国庫)					
	(特定)					
	(起債)					
	(一般財源)		(13,339千円)	(13,210千円)	(18,925千円)	
予算額② ※精算補正前の予算を記載			19,380千円	18,925千円	18,925千円	
執行率((①/②)×100)		--	68.8%	69.8%	100.0%	
人件費③(a+b+c)		従事人員		0.3人	0.3人	0.3人
			0千円	2,475千円	2,586千円	2,699千円
		職員給与費 a		2,147千円	2,217千円	2,371千円
		賞与引当金繰入額 b		178千円	187千円	178千円
		退職手当引当金繰入額 c		150千円	182千円	150千円
総コスト(①+③)		0千円	15,814千円	15,796千円	21,624千円	

事業に要するコスト

事務事業評価調書

評価	指標名	区分	4年度実績	5年度実績	6年度実績	7年度目標	最終目標【年度】
評価	成果指標（アウトカム指標①）	目標	—	40%	40%	40%	40%
	年齢、性別、障害の有無などに関わりなく、暮らしやすい環境が整っていると思う人の割合（兵庫のゆたかさ指標）	実績（見込）	—	36.1%	36.0%	(37.5%)	【令和9年度】
		(単位当たりコスト)	--	(438 千円)	(439 千円)	(577 千円)	
		達成率（見込）	--	90.3%	(90.0%)	(93.8%)	
	成果指標（アウトカム指標②）	目標	—	—	—	—	—
		実績（見込）	—	—	—	—	—
		(単位当たりコスト)	--	--	--	--	
		達成率（見込）	--	--	--	--	
	成果指標（アウトカム指標③）	目標	—	—	—	—	—
		実績（見込）	—	—	—	—	—
		(単位当たりコスト)	--	--	--	--	
		達成率（見込）	--	--	--	--	
指標	活動指標（アウトプット指標①）	目標	—	41市町	41市町	41市町	41市町
	当該補助申請市町数	実績（見込）	—	41市町	41市町	(41市町)	【令和9年度】
		(単位当たりコスト)	--	(386 千円)	(385 千円)	(527 千円)	
		達成率（見込）	--	100.0%	(100.0%)	(100.0%)	
	活動指標（アウトプット指標②）	目標	—	—	—	—	—
		実績（見込）	—	—	—	—	—
		(単位当たりコスト)	--	--	--	--	
		達成率（見込）	--	--	--	--	
	活動指標（アウトプット指標③）	目標	—	—	—	—	—
		実績（見込）	—	—	—	—	—
		(単位当たりコスト)	--	--	--	--	
		達成率（見込）	--	--	--	--	
目標	終期設定	○(令和9年度) ・ 無					
	改善基準	成果指標の目標年次の達成率100%					
自己評価	評価の視点	評価	目標に対する達成状況（総合的評価）				
	○有効性（評価指標に対する実績）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 部落差別や性的マイノリティへの偏見等、多様化する人権課題への対応は、県民ニーズが高いと考えられ、県と市町が連携して人権施策を推進する上で本事業は有効性が高い。 ・ R5年6月にLGBT理解増進法が施行され、地方公共団体の責務として、理解の増進に関する施策を策定・実施に努めることとされており、より一層の人権施策が求められている。 ・ 中立・公平な事業展開が求められるとともに、収益性が見込めない事業であり、基本的に民間の参入は望めない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県内全市町が当該制度を活用し、様々な人権課題に対応するための事業を実施している。 				
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県民ニーズを的確に踏まえた事業か ・ 民間での事業実施は見込めない事業か ・ 指標・目標設定は適切か ・ 活動実績は十分か ・ 想定された成果を達成しているか など 						
○効率性（最小のコストで最大の効果）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 業務改革に取り組んでいるか ・ コスト削減の工夫を行っているか ・ ICTや民間活力は活用しているか ・ 受益者負担は適正か ・ 財源確保の工夫を行っているか など 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 申請書の審査を行い、費用対効果の低いと考えられる事業は対象外としている。 ・ 事務処理の大部分について、福祉部総務課補助金・統計班において、ICTを最大限に活用した効率的な事務処理を実施している。 					
評価	課題・今後の方向性						
	<input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 他事業と統合 <input type="checkbox"/> その他						
評価	説明 県と市町が連携した効果的な人権推進事業を実施するうえで、当補助金はその充実に大きな役割を果たしており、継続が必要である。今後は、インターネット上の誹謗中傷や、性的マイノリティの人権問題など多様化する人権課題に対応した事業を市町が取組めるよう促していく。						

事務事業評価調書

評価	指標名	区分	4年度実績	5年度実績	6年度実績	7年度目標	最終目標【年度】	
	評価	成果指標（アウトカム指標①）	目標	-	164以下	178以下		178以下【R6年度】
県人権啓発協会におけるインターネットに関する人権侵害相談件数（毎年▲5%）		実績（見込）	(173)	(191)	(225)			
		(単位当たりコスト)	(63 千円)	(57 千円)	(91 千円)	--		
		達成率（見込）	--	--	--	--		
成果指標（アウトカム指標②）		目標	70%	70%	70%		70%【R6年度】	
専門（インターネット）相談解決率		実績（見込）	86%	82%	70%			
		(単位当たりコスト)	(12,735 千円)	(13,302 千円)	(29,239 千円)	--		
		達成率（見込）	122.9%	117.1%	(100.0%)	--		
成果指標（アウトカム指標③）		目標						
指標		活動指標（アウトプット指標①）	実績（見込）					
			(単位当たりコスト)	--	--	--	--	
			達成率（見込）	--	--	--	--	
	インターネットモニタリング件数	目標	-	-	900		900【R6年度】	
		実績（見込）	(613)	955	(1,249)			
		(単位当たりコスト)	(18 千円)	(11 千円)	(16 千円)	--		
	活動指標（アウトプット指標②）	実績（見込）						
		(単位当たりコスト)	--	--	--	--		
		達成率（見込）	--	--	--	--		
	活動指標（アウトプット指標③）	目標						
		実績（見込）						
		(単位当たりコスト)	--	--	--	--		
目標	終期設定	○有（令和6年度）					無	
	改善基準	成果指標の目標年次の達成率85%						
自己評価	評価の視点	評価		目標に対する達成状況（総合的評価）				
	○有効性（評価指標に対する実績） ・県民ニーズを的確に踏まえた事業か ・民間での事業実施は見込めない事業か ・指標・目標設定は適切か ・活動実績は十分か ・想定された成果を達成しているかなど	・令和5年度の人権に関する県民意識調査の結果、ネット上の人権侵害の解決方法として半数を超える回答者が「不当・違法な情報発信者に対する監視、取締りを強化すること」を選択しているなど、県民ニーズは高い。 ・弁護士による専門相談は目標を超える高い解決率を維持しており、モニタリングも令和5年度実績で目標を超える件数を検知するなど、着実に成果を挙げている。		・SNS上の誹謗中傷の深刻化等により相談件数は増加傾向にあり、R6では成果目標を下回った。（目標178以下、成果225）				
評価	○効率性（最小のコストで最大の効果） ・業務改革に取り組んでいるか ・コスト削減の工夫を行っているか ・ICTや民間活力は活用しているか ・受益者負担は適正か ・財源確保の工夫は行っているか など	・ネット上の誹謗中傷等の書込みの削除等に関する法的手続きの相談について、専門家である弁護士に委託するとともに、モニタリングによる検出作業を他で実績のある専門業者に委託するなど、効率的な事業執行が図られている。						
	課題・今後の方向性 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 他事業と統合 <input checked="" type="checkbox"/> その他 説明 } ・SNS上の誹謗中傷の深刻化等により、現在目標を下回ったこと等から、インターネット人権侵害対策強化事業への組み替えを行った。							
評価								

事務事業評価調書

事業名	ふるさと兵庫“すごいすと”情報発信事業				部(局)	県民生活部	
					所管課	県民躍動課	
					担当班	参画協働班	
					連絡先	73040	
開始年度	平成25年度	終了年度	—	関連計画等	—		
事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 国補助事業 <input type="checkbox"/> 県単独事業						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直執行 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他()				実施主体等	県	
事業目的	兵庫を元気にしているすごい人物“すごいすと”や、参画と協働のまちづくりを進める地域コミュニティ等、様々な角度から地域を元気にし、ふるさとへの誇りや愛着につながる情報を発信することで、地域活性化及び県民のふるさと意識の醸成を図る。						
事業概要	(1)インターネット情報誌「ふるさと兵庫“すごいすと”」の制作 地域を元気にしている人や、地域コミュニティ団体等に取材を行い、活動のきっかけや思い・今後の展望等を記事にして、すごいすとHPにて公開 (2)ふれあい活動アドバイザー派遣事業 “すごいすと”で取り上げられた方々を「ふれあい活動アドバイザー」として県内の地域づくり活動団体へ紹介・派遣し、県がその経費の一部を補助						
これまでの改善状況	H25: 事業開始 H27: 「未来のすごいすと（地域づくりに取り組む若者で構成されるグループ）」の制作を開始 R1: 「Co+Coすごい（地域づくりに取り組む地域コミュニティグループ）」の制作を開始 R3: 未来のすごいすとをCo+Coすごいに統合 R4: これまで蓄積してきたすごいすとの活用を図るため、すごいすとをアドバイザーとして地域づくり団体に派遣し、地域課題の解決に直接アプローチできる仕組みを整備 R5: これまで蓄積してきたすごいすとの活用と、活動の輪の拡大を図るため、すごいすとと地域づくり活動に興味を持つ県民との交流会を開催（豊岡、加古川）。すごいすとの周知を図るため、タブロイド紙を発行。 R6: SNSの活用やタブロイド紙の発行に加え、新たにティザー動画やPodcastを制作し、HP以外のコンテンツを充実させることでメディアミックスによる周知を図った。すごいすとと県民との交流会に加え、すごいすと同士の交流会を実施した（神戸）。						
業務フロー	(1)委託：1年ごとに企画提案コンペを実施し、最も優れた提案をした者に委託 (2)補助：申請（地域づくり活動団体）→受付・審査（県）→交付決定（県）						
事業に要するコスト	区 分		4年度決算額	5年度決算額	6年度決算額	7年度当初予算額	
	事業費①		12,371千円	10,971千円	11,056千円	11,028千円	
	経費内訳	報酬・賃金	0千円	0千円	0千円	0千円	
		委託料	9,195千円	9,199千円	9,196千円	9,200千円	
		補助金・交付金	600千円	755千円	736千円	1,356千円	
		貸付金	0千円	0千円	0千円	0千円	
		その他	2,576千円	1,017千円	1,124千円	472千円	
	（財源内訳）	（国庫）	(6,185千円)	(5,485千円)	(5,528千円)	(5,514千円)	
		（特定）	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	
		（起債）	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	
		（一般財源）	(6,185千円)	(5,486千円)	(5,528千円)	(5,514千円)	
	予算額② ※精算補正前の予算を記載		12,371千円	10,971千円	11,056千円	11,028千円	
	執行率（(①/②)×100）		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
	人件費③（a+b+c）		従事人員	1.0人	従事人員	1.0人	従事人員
			8,257千円	8,250千円	8,619千円	8,997千円	
	職員給与費 a	7,136千円	7,156千円	7,389千円	7,903千円		
	賞与引当金繰入額 b	583千円	594千円	624千円	594千円		
	退職手当引当金繰入額 c	538千円	500千円	606千円	500千円		
総コスト（①+③）		20,628千円	19,221千円	19,675千円	20,025千円		

事務事業評価調書

評	指標名	区 分	4年度実績	5年度実績	6年度実績	7年度目標	最終目標【年度】	
	価	成果指標（アウトカム指標①） すごいすとアクセスユーザー数 （月平均）	目 標	5,400	5,400	5,400	5,400	5,400
実績（見込）			6,951	6,236	5,143	(5,400)	【各年度】	
（単位当たりコスト）			(3千円)	(3千円)	(4千円)	(4千円)		
達成率（見込）			128.7%	115.5%	(95.2%)	(100.0%)		
成果指標（アウトカム指標②） すごいすとInstagramフォロワー数		目 標	—	—	—	300	前年度を上回る	
		実績（見込）	—	—	—	(300)	【各年度】	
		（単位当たりコスト）	--	--	--	(67千円)		
		達成率（見込）	--	--	--	(100.0%)		
指		活動指標（アウトプット指標①） すごいすとHP記事公開数 （交流会レポート等も含む）	目 標	—	—	—	10	10
			実績（見込）	—	—	—	(10)	【各年度】
			（単位当たりコスト）	--	--	--	(2,003千円)	
			達成率（見込）	--	--	--	(100.0%)	
指	活動指標（アウトプット指標②） ふれあい活動アドバイザー派遣回数 HYOGOの地域づくりアドバイザー派遣回数	目 標	25	25	25	25	25	
		実績（見込）	14	16	20	(25)	【各年度】	
		（単位当たりコスト）	(1,473千円)	(1,201千円)	(984千円)	(801千円)		
		達成率（見込）	56.0%	64.0%	(80.0%)	(100.0%)		
標	終期設定	有（ ）					無	
	改善基準							

自	評価の視点	評価	目標に対する達成状況（総合的評価）
	己	○有効性（評価指標に対する実績） ・ 県民ニーズを的確に踏まえた事業か ・ 民間での事業実施は見込めない事業か ・ 指標・目標設定は適切か ・ 活動実績は十分か ・ 想定された成果を達成しているか など	・ 本HPには定期的に関覧するユーザーが一定数存在しており、安定した閲覧状況を維持している。今後はさらなる認知拡大を図り、より多くのユーザー数の獲得を目指す。 ・ R7年度以降、外部委員会意見に基づき、「すごいすとアクセスユーザー数（月平均）」及び「すごいすとInstagramのフォロワー数」をアウトカム指標に設定する。 ・ アドバイザー派遣についても、制度の周知が不十分であると感じるため、実施例などを記載し、派遣回数の増加を目指す。
○効率性（最小のコストで最大の効果） ・ 業務改革に取り組んでいるか ・ コスト削減の工夫を行っているか ・ ICTや民間活力は活用しているか ・ 受益者負担は適正か ・ 財源確保の工夫は行っているか など		・ 毎年コンペを実施し、優れた提案をもつ事業者を選定し、効果的な事業執行を実施している。 ・ イベント実施時には、Instagramのフィード広告を行う等、新しい広報媒体を使った情報発信を行った。	
評	課題・今後の方向性		
	<input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 他事業と統合 <input type="checkbox"/> その他 説明 本事業の効果をより高めるためには、さらに多くの人にアクセスしてもらう必要がある。アクセスユーザー数の増加に向けては、本事業の魅力さをより高める必要があり、引き続き広報専門人材や民間事業者の提案を取り入れながら、HP構成の精査や新たな企画を検討・実施するとともに、SNSの活用やタブロイド紙の発行、動画・Podcast等の制作など、HP以外のコンテンツを充実し、メディアミックスによる周知を図っていく。 アドバイザー派遣については、より多くの団体の課題解決につながるよう、地域活動を支援する主体と連携し、本補助事業の効果的な周知・広報に取り組む。		
価			

事務事業評価調書

事業名	競技スポーツ振興事業				部(局)	県民生活部文化スポーツ局	
					所管課	スポーツ振興課	
					担当班	競技・生涯スポーツ班	
					連絡先	078-362-9446	
開始年度	平成19年度	終了年度	—	関連計画等	第2期スポーツ推進計画		
事業区分	<input type="checkbox"/> 国補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 県単独事業						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直執行 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他()				実施主体等	兵庫県スポーツ協会	
事業目的	<p>県内スポーツ団体の有する人的財産(トップアスリートやトップコーチ等)を活用して国スポ選手等の競技力強化を図るほか、子どもの運動・スポーツが好きになる機会の創出を推進し、競技者のすそ野拡大を図ることによって中・長期的な競技力向上に取り組み、次世代を担うジュニアアスリートを育成し、トップアスリート層の拡大を図る。</p> <p>また、競技団体の提案型による選手の発掘から育成・強化に対して補助することで、次回開催のオリンピックで活躍できる兵庫ゆかりのトップアスリートの輩出をめざす。</p>						
事業概要	<p>公益財団法人兵庫県スポーツ協会が行う下記事業に対して補助</p> <ul style="list-style-type: none"> 選手発掘・育成事業(ジュニア選手の発掘・育成事業、強化事業、トップアスリート等の活用促進事業) 推進体制の整備事業(選手枠・トッププログラム事業、強化体制充実プログラム事業、アスリート枠事業) 指導者養成事業(指導者養成プログラム事業) スパーアスリート事業(能力向上枠・トッププログラム事業、医・科学枠・トッププログラム事業、能力発掘・育成プログラム事業) 						
これまでの改善状況	<p>令和5年度～ 既存事業の整理・見直しを行った上で、下記のとおり改善を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> 広報にかかる経費をおさえるため、競技団体や各市町等への印刷物は、可能な限りオンライン(電子メールへ添付)などで対応し、大幅な削減を行った。 選手・指導者の県内への定着を図るため、アスリートキャリアフォーラム事業を実施し、本県企業関係者と選手・指導者との相互理解を深めた。 						
業務フロー	<p>申請(4月)(兵庫県スポーツ協会)→受付・審査(4月)(県)→交付決定(4月)(県) →事業実施(4～3月)(兵庫県スポーツ協会)→実績報告(3月)(兵庫県スポーツ協会)</p>						

区 分		4年度決算額	5年度決算額	6年度決算額	7年度当初予算額	
事業に要するコスト	事業費①	191,724千円	190,832千円	185,128千円	193,012千円	
	経費内訳	報酬・賃金	0千円	0千円	0千円	0千円
		委託料	0千円	0千円	0千円	0千円
		補助金・交付金	191,724千円	190,832千円	185,128千円	193,012千円
		貸付金	0千円	0千円	0千円	0千円
		その他	0千円	0千円	0千円	0千円
	(財源内訳)	(国庫)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)
		(特定)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)
		(起債)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)
		(一般財源)	(191,724千円)	(190,832千円)	(185,128千円)	(193,012千円)
	予算額② ※精算補正前の予算を記載		203,185千円	198,317千円	194,933千円	193,012千円
	執行率((①/②)×100)		94.4%	96.2%	95.0%	100.0%
	人件費③(a+b+c)	従事人員	0.4人	0.4人	0.4人	0.4人
			3,303千円	3,300千円	3,448千円	3,599千円
職員給与費 a		2,854千円	2,862千円	2,956千円	3,161千円	
賞与引当金繰入額 b		233千円	238千円	250千円	238千円	
退職手当引当金繰入額 c		215千円	200千円	242千円	200千円	
総コスト(①+③)		195,027千円	194,132千円	188,576千円	196,611千円	

事務事業評価調書

評価	指標名	区分	4年度実績	5年度実績	6年度実績	7年度目標	最終目標【年度】
評価	成果指標（アウトカム指標①） 国民スポーツ大会で入賞する競技団体数の増加	目標	20	22	24	26	28団体
		実績（見込）	21	21	20	(26)	【令和13年度】
		（単位当たりコスト）	(9,287千円)	(9,244千円)	(9,429千円)	(7,562千円)	
		達成率（見込）	105.0%	95.5%	83.3%	(100.0%)	
	成果指標（アウトカム指標②）	目標					
		実績（見込）					
		（単位当たりコスト）	--	--	--	--	
		達成率（見込）	--	--	--	--	
	成果指標（アウトカム指標③）	目標					
		実績（見込）					
		（単位当たりコスト）	--	--	--	--	
		達成率（見込）	--	--	--	--	
指標	活動指標（アウトプット指標①） ジュニアスポーツ教室参加者数の増加	目標	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000人
		実績（見込）	5,966	5,113	6,448	(7,000)	【令和13年度】
		（単位当たりコスト）	(33千円)	(38千円)	(29千円)	(28千円)	
		達成率（見込）	85.2%	73.0%	92.1%	(100.0%)	
	活動指標（アウトプット指標②）	目標					
		実績（見込）					
		（単位当たりコスト）	--	--	--	--	
		達成率（見込）	--	--	--	--	
	活動指標（アウトプット指標③）	目標					
		実績（見込）					
		（単位当たりコスト）	--	--	--	--	
		達成率（見込）	--	--	--	--	
目標	終期設定	有（ ） ・ 無（○）					
	改善基準	国民スポーツ大会で入賞する競技団体数が前年を3年連続で下回った場合に見直しを検討					
自己評価	評価の視点	評価		目標に対する達成状況（総合的評価）			
	○有効性（評価指標に対する実績） ・ 県民ニーズを的確に踏まえた事業か ・ 民間での事業実施は見込めない事業か ・ 指標・目標設定は適切か ・ 活動実績は十分か ・ 想定された成果を達成しているか など	ジュニア世代～トップアスリートへの育成により競技水準の向上が図られていることやスポーツ人口の裾野拡大に寄与していることから本事業は有効である。		国民スポーツ大会で入賞する競技団体数は、ジュニア期からの一貫した指導による選手発掘・育成を継続してきたが、令和6年度の目標値を下回った。 ジュニアスポーツ教室の参加者数は、目標達成には至らなかったが、参加者数は前年度を大きく上回った。 有望選手の県外流出が課題となっており、今後も国民スポーツ大会で入賞する競技数を増加させるために、更なる取組が必要。			
○効率性（最小のコストで最大の効果） ・ 業務改革に取り組んでいるか ・ コスト削減の工夫を行っているか ・ ICTや民間活力は活用しているか ・ 受益者負担は適正か ・ 財源確保の工夫を行っているか など	一部事業については、オンライン等を活用して対応することによりコスト削減を行うなど、効率的に実施している。						
評価	課題・今後の方向性						
	<input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 他事業と統合 <input type="checkbox"/> その他 説明 アスリート・指導者に対して、競技生活をサポート及びセカンドキャリアの保障をする県内の中小企業が少ないことから、県外にアスリート等が流出している。今後は有望選手の県外流出の阻止と選手確保のためにアスリートキャリアフォーラム事業を通じて、アスリート等の受け入れ企業を増やし、国民スポーツ大会に出場し優秀な成績を収める環境づくりを行う。 令和7年度から選手強化のDX推進事業を拡充し、希望する競技団体に対してモデル事業を実施することで、更なる競技力の向上を図る。						
評価							

事務事業評価調書

事業名	神戸マラソンの開催				部(局)	県民生活部
					所管課	スポーツ振興課
					担当班	マラソン班
					連絡先	078-325-1430
開始年度	平成23年度	終了年度	—	関連計画等	第2期スポーツ推進計画	
事業区分	<input type="checkbox"/> 国補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 県単独事業					
実施方法	<input type="checkbox"/> 直執行 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input checked="" type="checkbox"/> その他(負担金)				実施主体等	神戸マラソン実行委員会
事業目的	兵庫県と神戸市が「元気な兵庫の実現(兵庫県)」「健康を楽しむまちづくり(神戸市)」の実現に向け、ランニングを核としたスポーツのさらなる振興を図り、震災復興の教訓・感謝と兵庫・神戸の魅力を国内外に発信するため、フルマラソン大会を開催する。					
事業概要	日時：11月の第3日曜日に開催 種目：フルマラソン、リレーラン 定員：2万人 制限時間：7時間 コース：神戸市役所前(スタート)～明石市大蔵海岸(折り返し)～神戸ハーバーランドガス燈通り(ゴール)					
これまでの改善状況	平成27年度～ 競技性向上のためレベル獲得とエリートランナーを招聘する等による改善 令和5年～ 神戸マラソン将来構想検討委員会からの提言等を踏まえ、以下の項目について見直しを検討 ①フィニッシュ場所の変更、②新たなコース設定、③多様な種目設定、④インバウンド対策、 ⑤ブランド化による持続可能な大会運営 令和7年～ 新コースでの大会実施					
業務フロー	申請(4月)(神戸マラソン実行委員会)→協定締結(4月)(県) →事業実施(4月～3月)(神戸マラソン実行委員会) →実績報告書(3月)(神戸マラソン実行委員会)					

区 分		4年度決算額	5年度決算額	6年度決算額	7年度当初予算額	
事業に要するコスト	事業費①	68,883千円	68,883千円	68,883千円	68,883千円	
	経費内訳	報酬・賃金	0千円	0千円	0千円	0千円
		委託料	0千円	0千円	0千円	0千円
		補助金・交付金	68,883千円	68,883千円	68,883千円	68,883千円
		貸付金	0千円	0千円	0千円	0千円
		その他	0千円	0千円	0千円	0千円
	(財源内訳)	(国庫)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)
		(特定)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)
		(起債)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)
		(一般財源)	(68,883千円)	(68,883千円)	(68,883千円)	(68,883千円)
予算額② ※精算補正前の予算を記載		68,883千円	68,883千円	68,883千円		
執行率((①/②)×100)		100.0%	100.0%	100.0%	--	
人件費③(a+b+c)	従事人員	8.0人	8.0人	8.0人	8.0人	
		66,056千円	66,000千円	68,952千円	71,976千円	
	職員給与費 a	57,088千円	57,248千円	59,112千円	63,224千円	
	賞与引当金繰入額 b	4,664千円	4,752千円	4,992千円	4,752千円	
	退職手当引当金繰入額 c	4,304千円	4,000千円	4,848千円	4,000千円	
総コスト(①+③)		134,939千円	134,883千円	137,835千円	140,859千円	

事務事業評価調書

評価	指標名	区分	4年度実績	5年度実績	6年度実績	7年度目標	最終目標【年度】
	評価	成果指標（アウトカム指標①） 大会全体のランナー満足度 ※アンケートにより「大会に満足した」と回答したランナーの割合	目標	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
実績（見込）			88.9%	97.3%	94.1%	(100.0%)	【令和13年度】
(単位当たりコスト)			(151,787千円)	(138,626千円)	(146,477千円)	(140,859千円)	
達成率（見込）			88.9%	97.3%	94.1%	(100.0%)	
成果指標（アウトカム指標②）		目標	—	—	—	—	—
		実績（見込）	—	—	—	—	—
		(単位当たりコスト)	--	--	--	--	
		達成率（見込）	--	--	--	--	
成果指標（アウトカム指標③）		目標	—	—	—	—	—
		実績（見込）	—	—	—	—	—
		(単位当たりコスト)	--	--	--	--	
		達成率（見込）	--	--	--	--	
指標	活動指標（アウトプット指標①） ボランティア参加者数	目標	7,200	6,000	6,000	6,000	6,000
		実績（見込）	5,768	6,188	6,169	(6,000)	【令和13年度】
		(単位当たりコスト)	(23千円)	(22千円)	(23千円)	(23千円)	
		達成率（見込）	80.1%	103.1%	102.8%	(100.0%)	
	活動指標（アウトプット指標②）	目標	—	—	—	—	—
		実績（見込）	—	—	—	—	—
		(単位当たりコスト)	--	--	--	--	
		達成率（見込）	--	--	--	--	
	活動指標（アウトプット指標③）	目標	—	—	—	—	—
		実績（見込）	—	—	—	—	—
		(単位当たりコスト)	--	--	--	--	
		達成率（見込）	--	--	--	--	
目標	終期設定	有（ ） ・ （無）					
	改善基準	大会全体のランナー満足度が前年を3年連続で下回った場合に見直しを検討					
自己評価	評価の視点	評価	目標に対する達成状況（総合的評価）				
	○有効性（評価指標に対する実績） ・ 県民ニーズを的確に踏まえた事業か ・ 民間での事業実施は見込めない事業か ・ 指標・目標設定は適切か ・ 活動実績は十分か ・ 想定された成果を達成しているか など	ランナーと沿道応援を含めた約60万人を兵庫に呼び込むことで、震災復興の教訓・感謝と兵庫の魅力を発信する上で本事業は有効である。	将来構想検討委員会からの提言を踏まえ、2025大会より新コースでの実施をすることとなった。 ランナーアンケートにより、給水・給食、トイレの適正な配置など、ランナーの意見を反映させることで、より魅力ある大会を実施した。				
○効率性（最小のコストで最大の効果） ・ 業務改革に取り組んでいるか ・ コスト削減の工夫を行っているか ・ ICTや民間活力は活用しているか ・ 受益者負担は適正か ・ 財源確保の工夫を行っているか など	参加しやすい大会を目指し、他大会の参加料水準を見ながら、人件費や資機材の高騰分を警備計画や各種イベントの実施を見直し、経費削減に取り組んだ。	ボランティア参加者数については、目標数及び配置計画等を見直し、効率的に大会を運営した。 各ボランティアの拘束時間等負担を軽減するため、引き続き、目標数の充足を目指し、ランナー募集と合わせて広報等を強化する。					
評価	課題・今後の方向性						
	<input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 他事業と統合 <input checked="" type="checkbox"/> その他 説明 { 2025大会から実施する新たなコースを活かし、魅力的な大会づくりに取り組む。 }						

事務事業評価調書

事業名	「関西マスターズゲームズ in HYOGO」開催事業				部(局)	県民生活部文化スポーツ局	
					所管課	スポーツ振興課	
					担当班	ワールドマスターズゲームズ推進班	
					連絡先	080-4322-1858	
開始年度	平成26年	終了年度		関連計画等	第2期スポーツ推進計画		
事業区分	<input type="checkbox"/> 国補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 県単独事業						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直執行 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他()					実施主体等	
事業目的	<p>「ワールドマスターズゲームズ関西大会」の開催に向けて醸成してきたスポーツ機運を継続し、さらにすそ野を広げるため「ひょうご生涯スポーツ大会」を「関西マスターズゲームズ」の冠称大会とし、広く県民にスポーツの楽しさや喜びを体験したり、実践する場を提供したりすることにより、生涯を通じてスポーツに親しみ、健康で豊かな生活の実現に資する。</p>						
事業概要	<p>ひょうご生涯スポーツ大会実行委員会に以下事業を委託。 ①広報イベント：各競技別大会に参加する仲間と集い、ワールドマスターズゲームズに向けて県民へ広く広報活動を行い、生涯スポーツの振興に繋げる。 ②競技別大会（ひょうご生涯スポーツ大会）：WMG2027関西大会の開催に向けてスポーツ機運の醸成を図り、さらにすそ野を広げるため、「ひょうご生涯スポーツ大会」を「関西マスターズゲームズ」の冠称大会とし、広く県民にスポーツの楽しさや喜びを体験したり、実践する場を提供する。 ③県民ふれあい大会：兵庫県生涯スポーツ連合と連携し、こころ豊かな生活をめざし、生涯を通じて楽しみ、喜びを味わえる生涯スポーツ活動の体験と交流を図り、だれでも、いつでも、どこでも、気軽に参加できる生涯スポーツ活動を推進する。</p>						
これまでの改善状況							
業務フロー	申請（4月）（ひょうご生涯スポーツ大会実行委員会）→委託契約締結（4月）（県） →事業実施（4月～3月）（ひょうご生涯スポーツ大会実行委員会） →実績報告（3月）（ひょうご生涯スポーツ大会実行委員会）						
事業に要するコスト	区 分		4年度決算額	5年度決算額	6年度決算額	7年度当初予算額	
	事業費①		6,265千円	6,072千円	5,579千円	4,760千円	
	経費内訳	報酬・賃金	0千円	0千円	0千円	0千円	
		委託料	3,958千円	3,681千円	3,215千円	4,760千円	
		補助金・交付金	0千円	0千円	0千円	0千円	
		貸付金	0千円	0千円	0千円	0千円	
		その他	2,307千円	2,391千円	2,364千円	0千円	
	（財源内訳）	(国庫)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	
		(特定)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	
		(起債)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	
		(一般財源)	(6,265千円)	(6,072千円)	(5,579千円)	(4,760千円)	
	予算額② ※精算補正前の予算を記載		6,265千円	6,072千円	5,579千円	4,760千円	
	執行率（(①/②）×100）		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
	人件費③（a+b+c）		従事人員 0.3人	従事人員 0.3人	従事人員 0.3人	従事人員 0.3人	
			2,477千円	2,475千円	2,586千円	2,699千円	
職員給与費	a	2,141千円	2,147千円	2,217千円	2,371千円		
賞与引当金繰入額	b	175千円	178千円	187千円	178千円		
退職手当引当金繰入額	c	161千円	150千円	182千円	150千円		
総コスト（①+③）		8,742千円	8,547千円	8,165千円	7,459千円		

事務事業評価調書

評価	指標名	区分	4年度実績	5年度実績	6年度実績	7年度目標	最終目標【年度】
	評価	成果指標（アウトカム指標①） 成人のスポーツ実施率 （R3まで目標値なし）	目標	64.4%	65.8%	67.2%	68.6%
実績（見込）			67.8%	61.0%	65.8%	68.6%	【令和13年度】
（単位当たりコスト）			(12,894千円)	(14,011千円)	(12,408千円)	(10,873千円)	
達成率（見込）			105.3%	92.7%	97.9%	(100.0%)	
成果指標（アウトカム指標②）		目標					
		実績（見込）					
		（単位当たりコスト）	--	--	--	--	
		達成率（見込）	--	--	--	--	
成果指標（アウトカム指標③）		目標					
		実績（見込）					
		（単位当たりコスト）	--	--	--	--	
		達成率（見込）	--	--	--	--	
指標	活動指標（アウトプット指標①） 「関西マスターズゲームズ in HYOGO」の大会数	目標	64	64	64	64	64
		実績（見込）	45	54	45	(64)	【令和13年度】
		（単位当たりコスト）	(194千円)	(158千円)	(181千円)	(117千円)	
		達成率（見込）	70.3%	84.4%	70.3%	(100.0%)	
	活動指標（アウトプット指標②）	目標					
		実績（見込）					
		（単位当たりコスト）	--	--	--	--	
		達成率（見込）	--	--	--	--	
	活動指標（アウトプット指標③）	目標					
		実績（見込）					
		（単位当たりコスト）	--	--	--	--	
		達成率（見込）	--	--	--	--	
目標	終期設定	有（ ） ・ 無					
	改善基準						
自己評価	評価の視点	評価		目標に対する達成状況（総合的評価）			
	○有効性（評価指標に対する実績） ・ 県民ニーズを的確に踏まえた事業か ・ 民間での事業実施は見込めない事業か ・ 指標・目標設定は適切か ・ 活動実績は十分か ・ 想定された成果を達成しているかなど	大会を開催することで県民に対し、スポーツの楽しさや喜びを体験したり、実践する場を提供することができ、大会への機運醸成を図るのに有効である。		引き続きワールドマスターズゲームズに向けた啓発活動を行うとともに、生涯スポーツの振興、情報発信を続けていく。			
課題・今後の方向性	○効率性（最小のコストで最大の効果） ・ 業務改革に取り組んでいるか ・ コスト削減の工夫を行っているか ・ ICTや民間活力は活用しているか ・ 受益者負担は適正か ・ 財源確保の工夫は行っているか など	WMG2021関西組織委員会が行う広報と連携して、本事業の広報を行うことで、更なる県民のスポーツ参加機会の増大を図るなど事業の効率化を図る。					
	課題・今後の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 他事業と統合 <input type="checkbox"/> その他	説明 「関西マスターズゲームズ in HYOGO」の大会数の増加と成人のスポーツ実施率の達成状況の相関性を踏まえ、各競技団体が運営する「関西マスターズゲームズ in HYOGO」の大会内容の実態把握を行い、取組内容の改善を促すことで成人のスポーツ実施率の増加を図る。					

事務事業評価調書

事業名	スポーツ大会招致事業（「はばタンスポーツ基金」活用事業）				部(局)	県民生活部文化スポーツ局	
					所管課	スポーツ振興課	
					担当班	競技・生涯スポーツ班	
					連絡先	078-362-9446	
開始年度	平成19年度～	終了年度	—	関連計画等	第2期スポーツ推進計画		
事業区分	<input type="checkbox"/> 国補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 県単独事業						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直執行 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他()				実施主体等	競技団体	
事業目的	国際大会、全国規模の大会を誘致し県民に質の高い競技を観戦する機会を提供することで、本県のスポーツに関する競技水準の向上、県民のスポーツへの関心を深める。						
事業概要	競技大会実施団体（公益財団法人兵庫県スポーツ協会加盟競技団体及び上部団体が公益財団法人日本スポーツ協会又は公益財団法人日本オリンピック委員会に加盟している県内のスポーツ団体）が全国規模の競技大会開催に要する経費を補助						
これまでの改善状況	<p>平成19年度：1大会上限50万円として基金運用益の範囲内で助成 平成25年度～：運用方法変更に伴い、安定的な運用利息が見込めることから、助成要件を拡充1大会上限100万円として600万円の範囲内で助成 令和4年度～：大会の主催・主管団体を、県スポーツ協会加盟競技団体だけでなく、上部団体が(公財)日本スポーツ協会及び(公財)日本オリンピック委員会に加盟している県内のスポーツ団体まで拡充。集客を目的とした内容や広報にも補助金を使用できるよう、対象経費に柔軟性を持たせ、競技大会開催に要する経費（食糧費、備品購入費等は除外）と変更。国際大会や全国規模の大会の県内開催の定着を目指すこと、またスポーツへの興味・関心を高める観点から、3年以上連続で開催される大会については、3年間の継続補助を行う。 令和7年度～：ワールドマスターズゲームズ2027関西開催までの2年間（令和7・8年度）に限り補助件数を増加（1件分、1,000千円）</p>						
業務フロー	事業周知【前年4月、対象：県スポーツ協会加盟競技団体】 → 仮申請【前年(1回目)4月～9月、(2回目)10月～2月】 → 仮受付・仮審査 → 正式申請 → 受付・審査 → 決定通知 → 大会実施						
事業に要するコスト	区 分		4年度決算額	5年度決算額	6年度決算額	7年度当初予算額	
	事業費①		4,836千円	5,000千円	6,000千円	7,000千円	
	経費内訳	報酬・賃金	0千円	0千円	0千円	0千円	
		委託料	0千円	0千円	0千円	0千円	
		補助金・交付金	4,836千円	5,000千円	6,000千円	7,000千円	
		貸付金	0千円	0千円	0千円	0千円	
		その他	0千円	0千円	0千円	0千円	
	(財源内訳)	(国庫)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	
		(特定)	(4,836千円)	(5,000千円)	(6,000千円)	(7,000千円)	
		(起債)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	
		(一般財源)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	
	予算額② ※精算補正前の予算を記載		6,000千円	6,000千円	6,000千円	7,000千円	
	執行率（(①/②)×100）		80.6%	83.3%	100.0%	100.0%	
	人件費③（a+b+c）		従事人員 0.3人	従事人員 0.3人	従事人員 0.3人	従事人員 0.3人	0.3人
		2,477千円	2,475千円	2,586千円	2,699千円		
職員給与費	a	2,141千円	2,147千円	2,217千円	2,371千円		
賞与引当金繰入額	b	175千円	178千円	187千円	178千円		
退職手当引当金繰入額	c	161千円	150千円	182千円	150千円		
総コスト（①+③）		7,313千円	7,475千円	8,586千円	9,699千円		

事務事業評価調書

評価	指標名	区分	4年度実績	5年度実績	6年度実績	7年度目標	最終目標【年度】
	評価	成果指標（アウトカム指標①）	目 標	64.4%	65.8%	67.2%	68.6%
成人のスポーツ実施率		実績（見込）	67.8%	61.0%	65.8%	-	【令和13年度】
		(単位当たりコスト)	(11,025 千円)	(14,075 千円)	(14,740 千円)	--	
		達成率（見込）	105.3%	92.7%	(97.9%)	--	
		成果指標（アウトカム指標②）	目 標	86.0%	86.7%	87.5%	88.2%
運動・スポーツが好きな子どもの増加		実績（見込）	86.3%	86.1%	86.6%	-	【令和13年度】
		(単位当たりコスト)	(8,662 千円)	(9,972 千円)	(11,200 千円)	--	
		達成率（見込）	100.3%	99.3%	(99.0%)	--	
		成果指標（アウトカム指標③）	目 標	462	467	472	476
国民スポーツ大会をはじめ国内外の大会で顕著な成績をおさめる兵庫ゆかりの選手の増加		実績（見込）	489	537	440	-	【令和13年度】
		(単位当たりコスト)	(15 千円)	(16 千円)	(22 千円)	--	
		達成率（見込）	105.8%	115.0%	(93.2%)	--	
	活動指標（アウトプット指標①）	目 標	6	6	6	9	6
兵庫県で開催する国際大会、全国規模の競技大会数	実績（見込）	5	5	6	(9)	【令和13年度】	
	(単位当たりコスト)	(1,495 千円)	(1,717 千円)	(1,617 千円)	(1,078 千円)		
	達成率（見込）	83.3%	83.3%	(100.0%)	(100.0%)		
	活動指標（アウトプット指標②）	目 標	-	-	-	-	
	実績（見込）	-	-	-	-		
	(単位当たりコスト)	--	--	--	--		
	達成率（見込）	--	--	--	--		
	活動指標（アウトプット指標③）	目 標	-	-	-	-	
	実績（見込）	-	-	-	-		
	(単位当たりコスト)	--	--	--	--		
	達成率（見込）	--	--	--	--		
	終期設定	有（ ） ・ (無)					
改善基準							
自己評価	評価の視点	評価					目標に対する達成状況（総合的評価）
	○有効性（評価指標に対する実績） ・ 県民ニーズを的確に踏まえた事業か ・ 民間での事業実施は見込めない事業か ・ 指標・目標設定は適切か ・ 活動実績は十分か ・ 想定された成果を達成しているか など	補助金を助成することで競技団体が大会を招致しやすく、県民が質の高い大会を見る機会を提供することができる。				令和4年度までは同一大会の複数回補助は認めていなかったが、令和5年度より3年以上継続して県内で開催する大会については、大会の定着を図る目的で3年間に限り補助対象とした。この変更により、従前から本県で開催されていた大会については、より開催がしやすくなった一方で、同一競技の開催に偏る可能性もあるので、多様な競技が開催できるよう引き続き関係団体へ働きかけていく。	
○効率性（最小のコストで最大の効果） ・ 業務改革に取り組んでいるか ・ コスト削減の工夫を行っているか ・ ICTや民間活力は活用しているか ・ 受益者負担は適正か ・ 財源確保の工夫を行っているか など	令和5年度より、対象経費を競技大会開催に要する経費（一部対象外経費あり）と対象大会に柔軟性を持たせたことで、競技団体にとって全国レベルの大会を招致しやすくなっている。						
評価	課題・今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 他事業と統合 <input type="checkbox"/> その他					
	説明	パリオリンピックにおいてブレイキン（ブレイクダンス）が採用されるなど、多様なスポーツへの関心が高まっている。様々な競技の競技人口の裾野拡大や運動・スポーツが好きな子どもの増加、成人のスポーツ実施率を高めるため、様々な競技大会が本県で開催され、県民が身近で観戦できる機会が提供できるよう、対象大会の基準の改善を検討。					